

手順編

0.エンドパネル(オプション) ▶22	7.後横さん・壁側板 ▶34
1.固定金具 ▶23	8.大便器 ▶35
2.止水栓 ▶24	9.ウォシュレット ▶36
3.壁側板(手洗器設置側) ▶28	10.棚板・ タンク上収納底板用アングル材 ▶39
4.大便器の仮固定・排水部材 ▶29	11.扉 ▶41
5.セットタンク ▶31	12.固定扉 ▶43
6.コアキャビネット ▶32	

	手洗器サイズ	Mサイズ	Sサイズ
13.手洗器キャビネット・カウンター		▶44	▶56
14.手洗器		▶51	▶64
15.試運転・確認			▶69
16.給水フィルターの清掃			▶73
17.天板			▶74
18.器具類			▶77
19.仕上げ			▶78
引渡し前の点検			▶裏表紙

マーク表示について



手締めで

電動ドライバー
使用禁止です。
手締めしてください。



下穴

下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



シール

シールテープを
巻いてください。



カット

カットしてください。



ボードアンカー

ボードアンカーを
差し込んでください。



けがき



けがき

けがきを
してください。



水平確認



垂直確認

水平器で水平・垂直確認
してください。

0.エンドパネル(オプション)

【エンドパネルがない場合】
P.23「1.固定金具」から作業してください。

1 アンゲル材の取り付け

▶P.22

2 エンドパネルの取り付け

▶P.22

1 アンゲル材の取り付け

① トラストッピンねじ 4×12(6本)

手締めで

2 エンドパネルの取り付け

間口寸法Wの測定範囲

トラストッピンねじ 4×30(9本)

② けがき → 下穴 φ3

【幅木がある場合】

① 幅木分カット

幅木の高さ

幅木の厚さ

間口寸法W

18

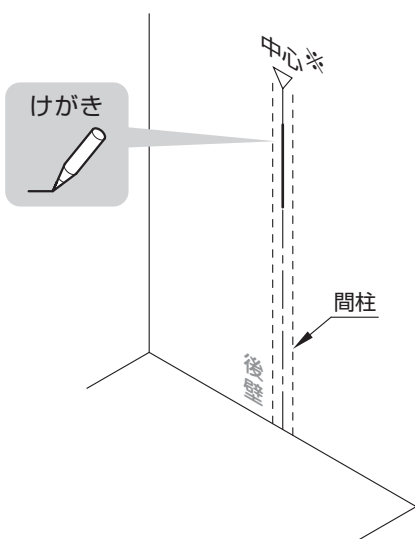
③

1. 固定金具

1 固定金具の取り付け

1

※【壁裏補強なしの場合】
間柱中心
【壁裏補強ありの場合】
間口中心

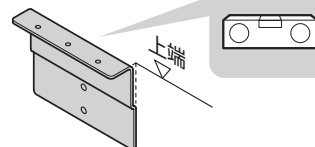


注意

固定金具の水平が出ていないと、キャビネット全体が傾き、扉の開閉ができなくなる可能性があります

2 上端の高さをあわせる

水平確認



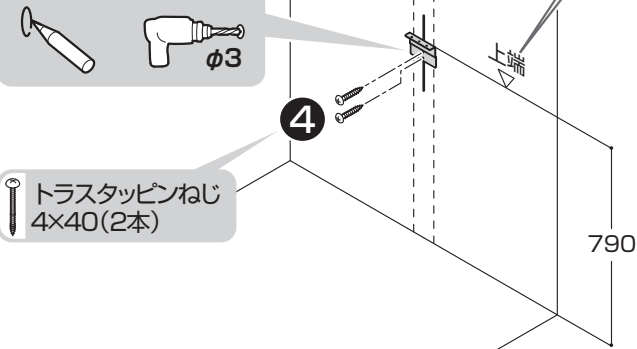
3

けがき → 下穴



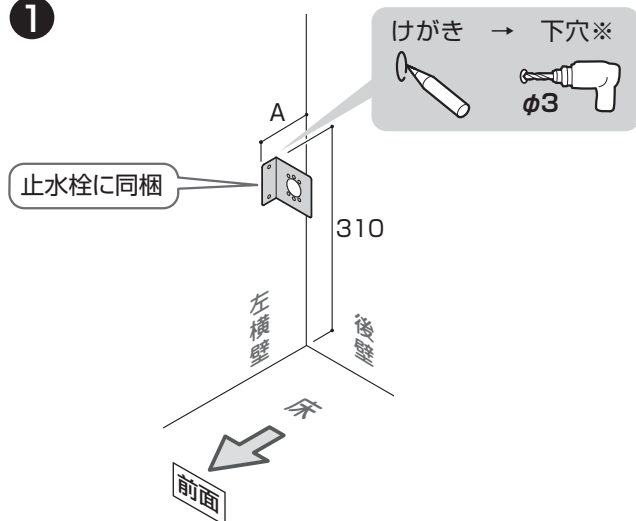
4

トラスタッピンねじ
4×40(2本)



既存給水流用の場合

1



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



排水方向	A
後ろ抜き	85
右抜き	
左抜き	

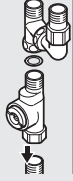
給水新設

既存給水流用

2. 止水栓

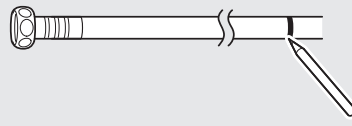
【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

1 止水栓・分岐金具の取り付け



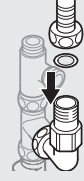
▶ P.24

2 ホースクランプの固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))



▶ P.25

3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



▶ P.25

▶ P.26

給水新設

給水流用

▶ P.26

▶ P.26

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

ポイント

左右勝手とも取付位置は正面
向かって左

注意

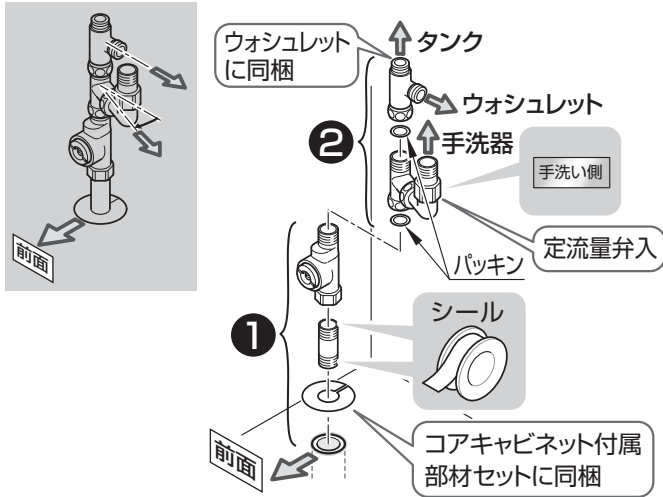


必ず守る

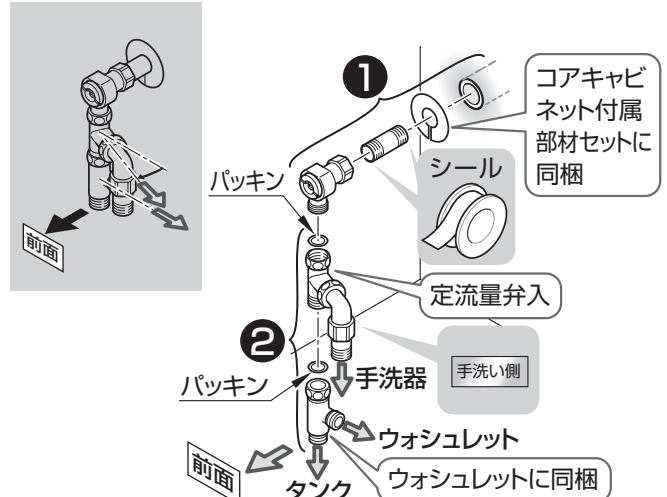
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

床給水

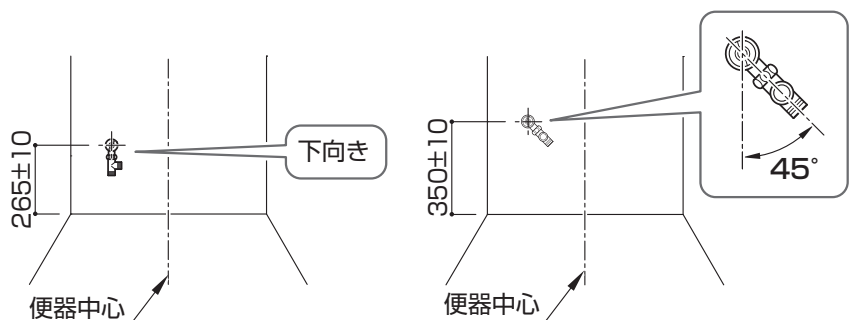


壁給水



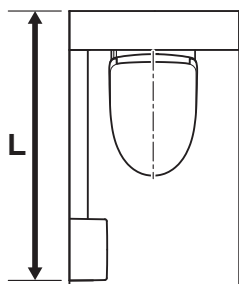
【壁排水 後ろ抜きの場合】

【左右抜きの場合】



2 ホースクランプ固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))

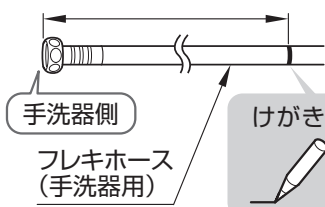
奥行寸法Lの測定範囲



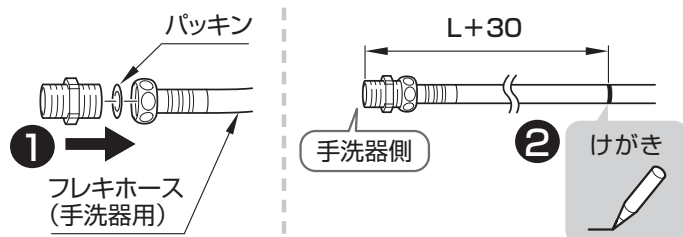
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

L+350(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)
L+10(手洗器Mサイズ 自動水栓)
L+10(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

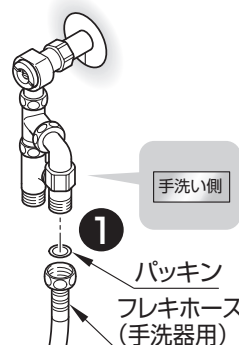
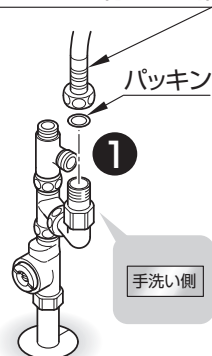


3 フレキホース(手洗器用)の 取り付け

床給水

壁給水

フレキホース(手洗器用)



- ② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する
※フレキホース(手洗器用)の取り回しは下欄参照

フレキホース(手洗器用)の取り回し例

警告



ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

全タイプ共通 注意事項・マーク説明

- : ホース固定位置 (マーク箇所を固定)
○ : ホース固定位置 (任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

	左勝手の場合	右勝手の場合
床給水		
壁給水		

給水新設

既存給水流用

既存給水流用

1 止水栓・分岐金具の取り付け

1

床給水



コアキャビネット
付属部材セット
に同梱

壁給水



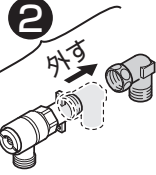
コアキャビネット
付属部材セット
に同梱

注意

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓 (フィルター付き) を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

必ず守る

なべ小ねじ
M4×8 (2本)



7

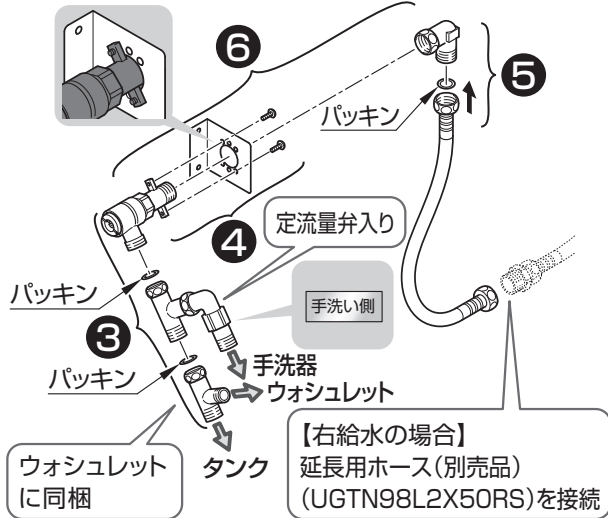
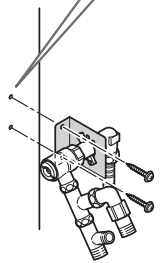
座付タッピンねじ
4.5×38 (2本)

【エンドパネルに壁側板
を取り付けている場合】

必ず使用

「エンドパネル」に同梱
トラスタッピンねじ
4×12 (2本)

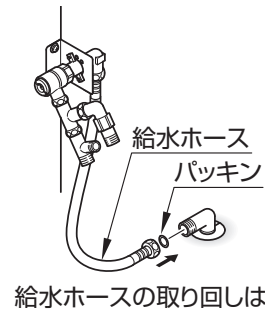
事前にあけた左横壁下穴
(▶P.23)に取り付け



【右給水の場合】
延長用ホース (別売品)
(UGTN98L2X50RS) を接続

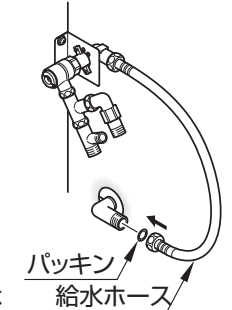
8

床給水



給水ホースの取り回しは
▶P.27 給水ホース 参照

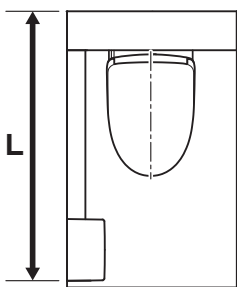
壁給水



給水ホースの取り回しは
▶P.27 給水ホース 参照

2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース (手洗器用))

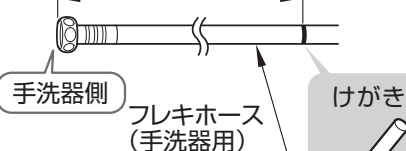
奥行寸法Lの測定範囲



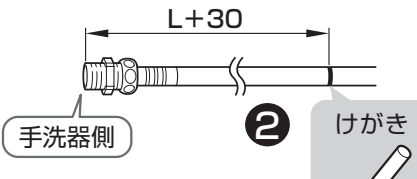
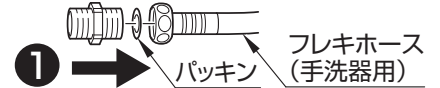
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

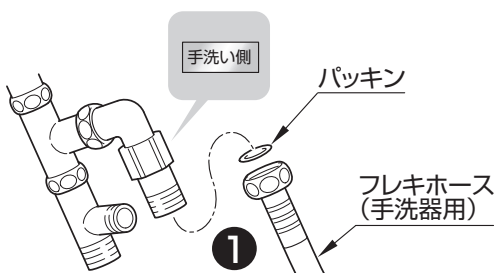
L+350 (手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)
L+10 (手洗器Mサイズ 自動水栓)
L+10 (手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓



3 フレキホース (手洗器用) の取り付け



2 ホースクランプ (カウンターセットに同梱) で固定する

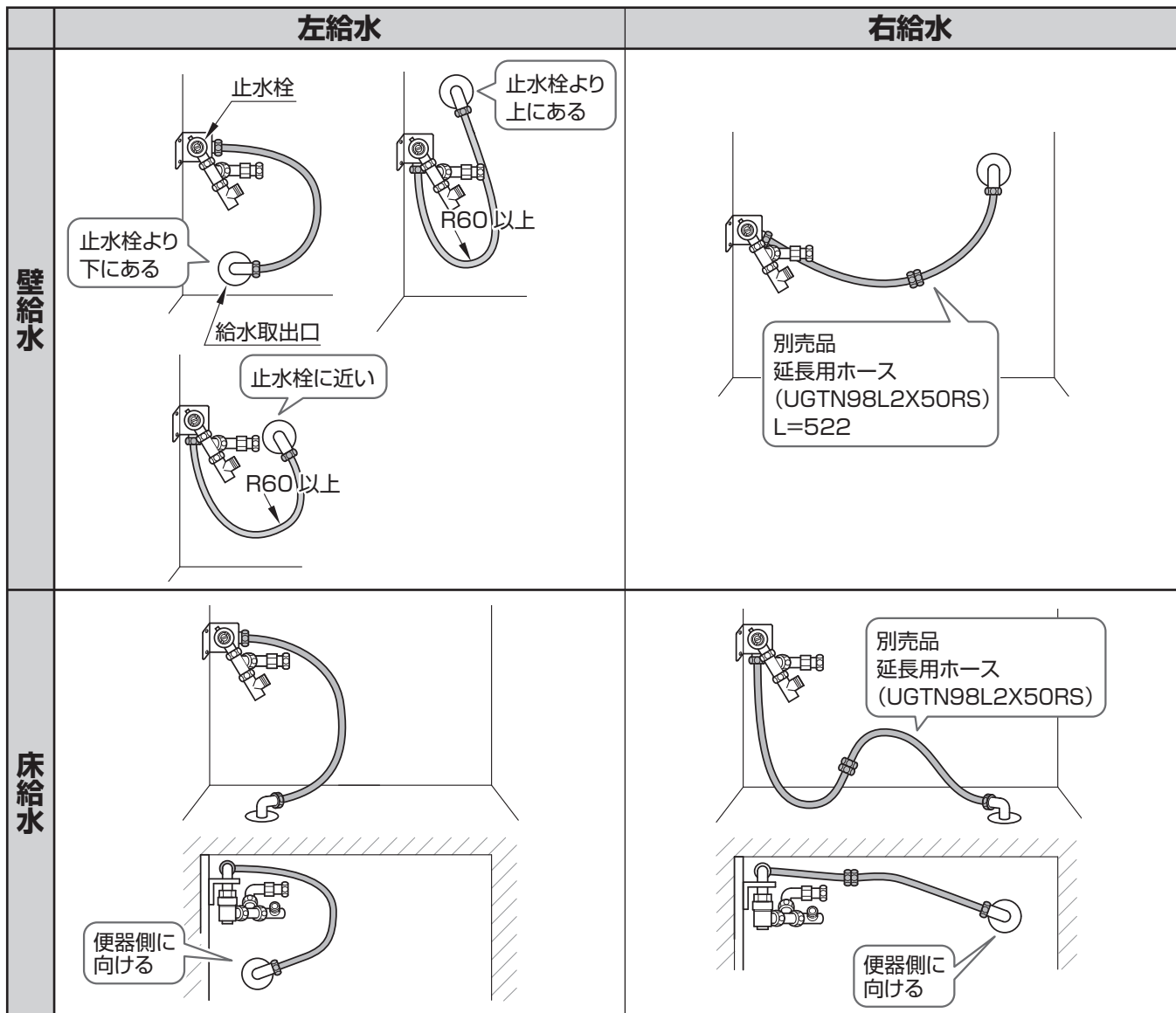
フレキホース (手洗器用) の取り回しは

▶P.27 フレキホース (手洗器用) 参照



給水ホース・フレキホース(手洗器用)の取り回し例

給水ホース



フレキホース(手洗器用)

警告


禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない

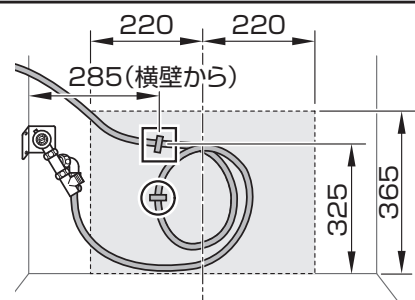
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

□ : ホース固定位置
(マーク箇所を固定)

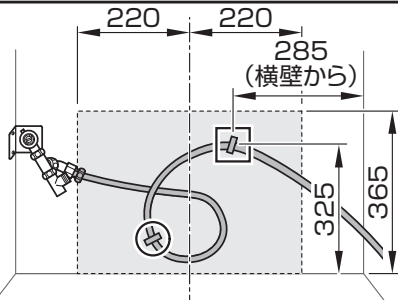
○ : ホース固定位置
(任意の箇所を固定)

--- : ホース取り回し範囲

左勝手の場合



右勝手の場合

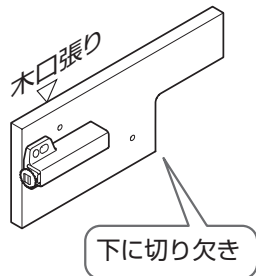


※左図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合は、左図を
参考に給水ホース取り回し範囲内でホース
を取り回し、固定してください。

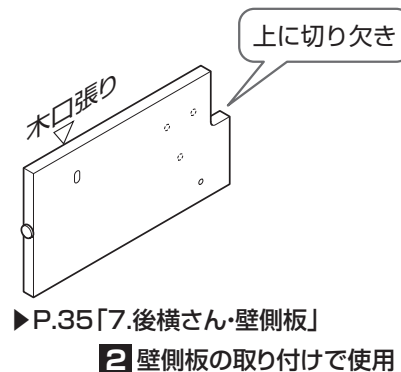
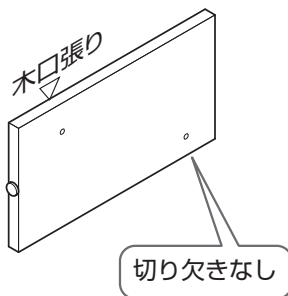
3. 壁側板(手洗器設置側)

壁側板の種類

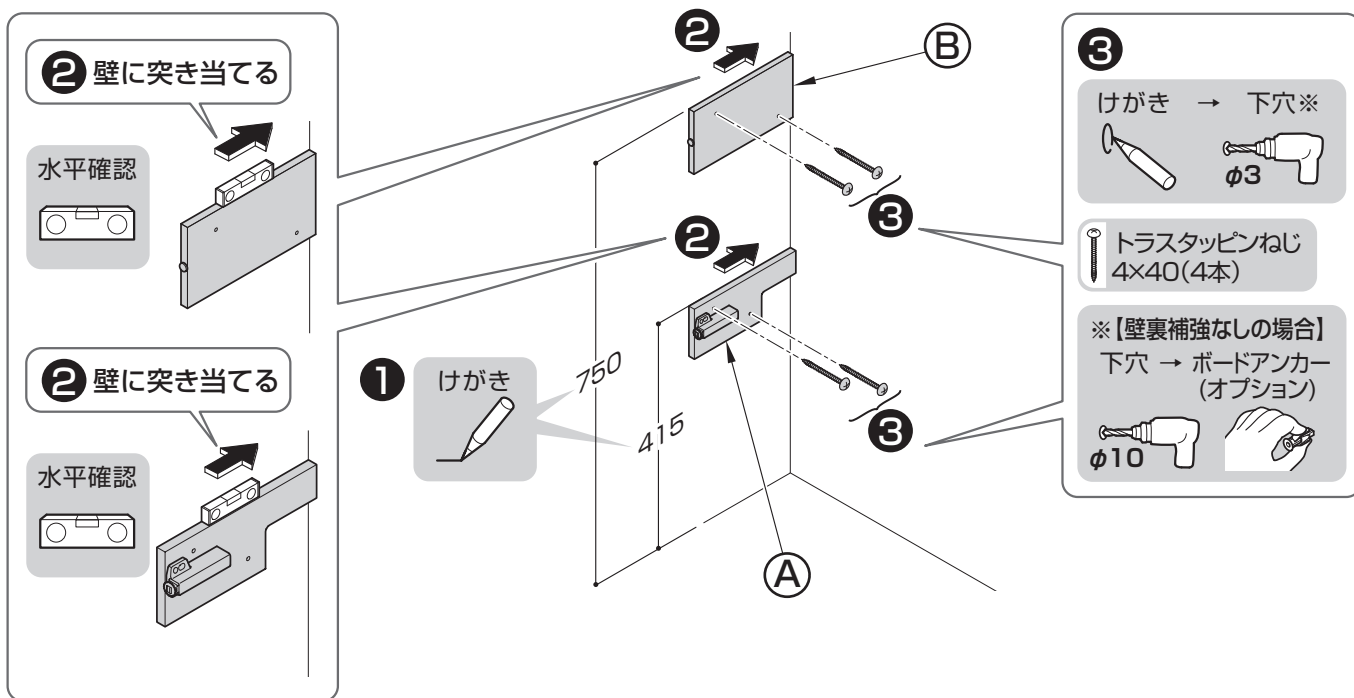
①



②



1 壁側板(手洗器設置側)の設置



MEMO

4.大便器の仮固定・排水部材

1 大便器の仮固定

▶P.29

2 排水接続管の取り付け、接続

▶P.29

3 手洗器排水ホースの取り付け

▶P.30

4

大便器の仮固定・排水部材

1 大便器の仮固定

1 図の位置に便器を仮置きする

ポイント

便器中心線と間口中心が一致するように注意する。一致しないと便器と前板パネルにすき間ができます。

2 けがき
便器固定穴:2カ所

3 けがき
※鉛筆など (あとで消せるもの)

256

後壁

間口中心

便器中心線

4 便器をいったん外す

なべタッピンねじ
6×50 (2本)

座金(2個)

固定片

6

383

46

5 けがき → 下穴
φ4.5

便器固定穴: 2カ所
固定片取付穴: 2カ所

2 排水接続管の取り付け、接続

1 後ろ抜きの場合

左右抜きの場合

ホースバンド

排水接続管

上に向ける

締め付け部を真上にする

ホースバンド

排水接続管

上に向ける

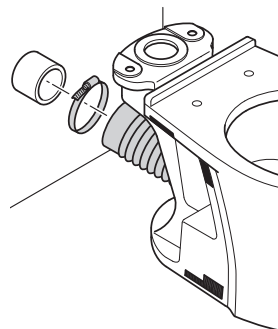
逆勾配に注意

注意



ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

2 便器を仮置きし、排水管(設備側)に接続する



注意



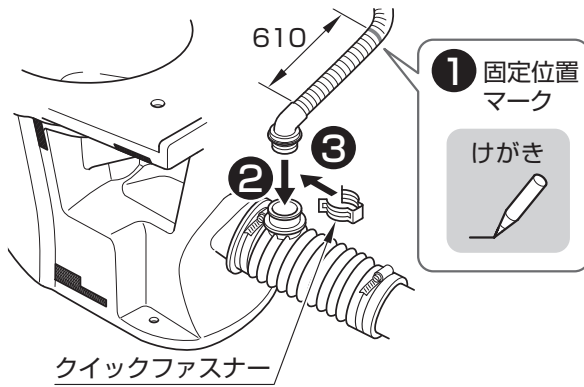
手洗排水合流部が真上になるように、排水接続管を接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

注意



排水管の高さにあわせて適切な角度で排水接続管を接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

3 手洗器排水ホースの取り付け



注意

クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する
クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

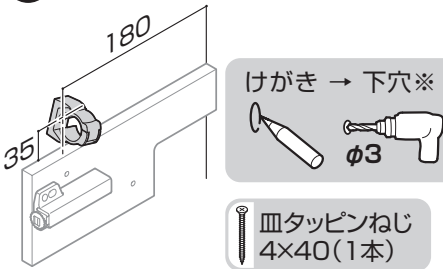


4

大便器の仮固定・排水部材

※図は手洗器が左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

4 配管固定材を側板に取り付け



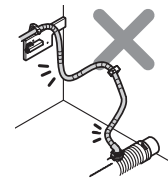
※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー (オプション)



逆勾配注意

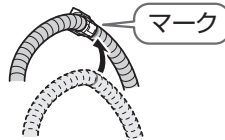
手洗器排水ホースがたるまないように固定する

手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材 (2個)

5 ホースを配管固定材に固定

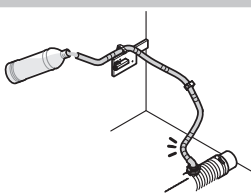


6 配管固定材を後壁(斜線範囲内)に取り付けて、ホースを固定

皿タッピンねじ 4×40(1本)

水漏れ確認

接続後、すぐに水漏れ確認する

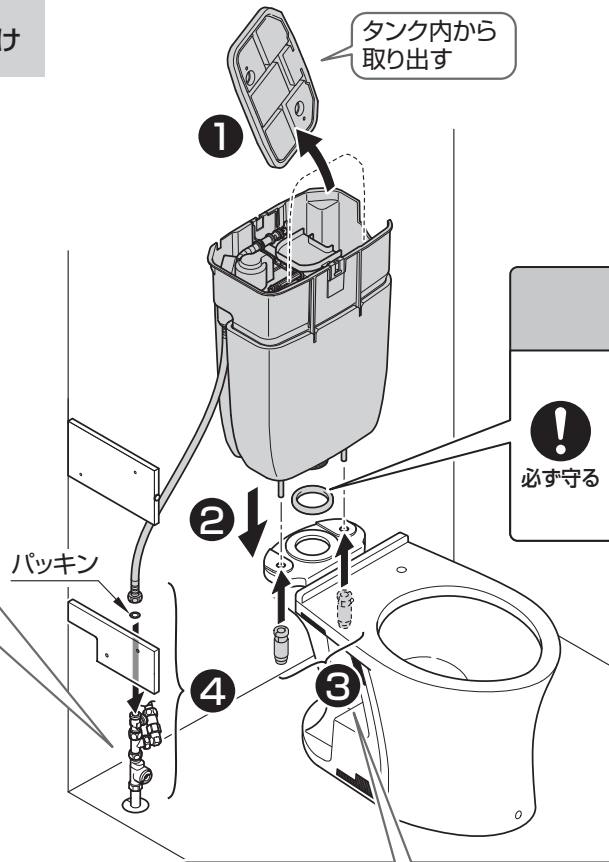
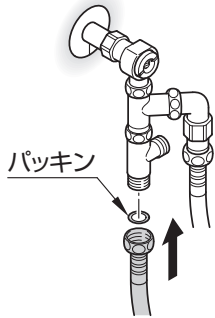


MEMO

5. セットタンク

1 セットタンクの取り付け

【壁給水の場合】



タンク内から
取り出す

! 注意

!
必ず守る

パッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の
原因となります。

固定ナットの取り付けかた

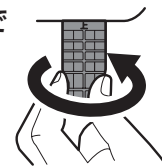
! 注意

!
必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の
原因となります。

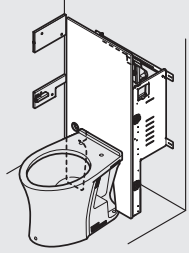
固定ナットを締め付けるときは必ず
手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めで
かたく締め付ける。



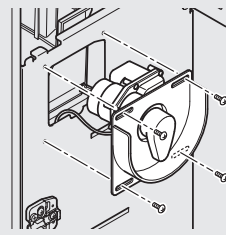
6. コアキャビネット

1 コアキャビネットの設置



▶P.32

2 洗浄レバーの取り付け



▶P.33

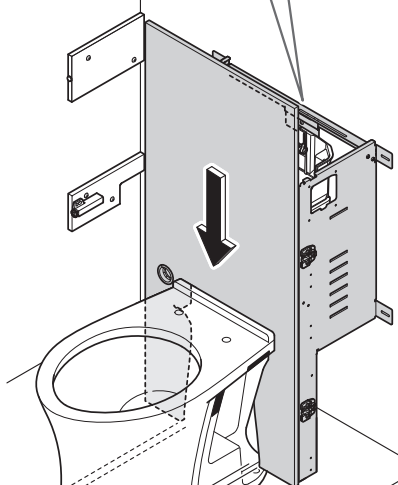
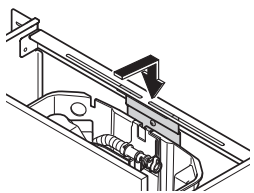
6

コアキャビネット

1 コアキャビネットの設置

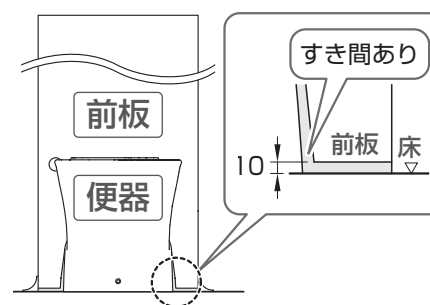
※タイプにより、コアキャビネットの形状が異なります。

1 引っ掛ける



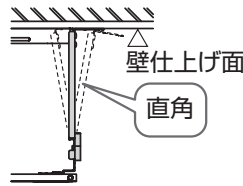
2 すき間を左右均等

床から浮く



注意

ねじ固定時に側板が曲がらないようにすること



5

けがき → 下穴※
φ3

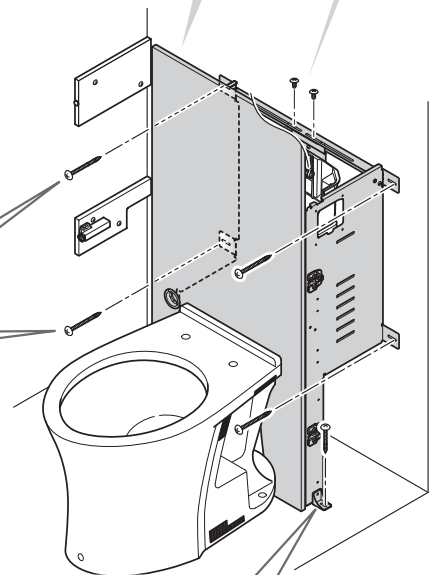
トラスタッピンねじ
4×40(4本)

※【壁裏補強なしの場合】

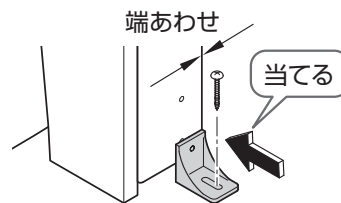
下穴 → ボードアンカー
φ10

3 バインドタッピンねじ
4×8(2本)

4 水平確認



6 アンゲル材を側板に当て、床に固定(側板への固定は不要)
(カウンター反対側に1カ所)

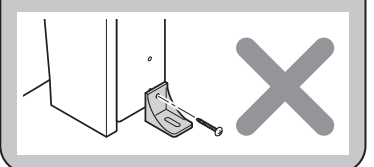


けがき → 下穴
φ3

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

注意

側板へ固定しない



2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットと同梱の説明書とは、取付向きが異なります。
ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。

●印を奥壁側に向ける

1 しっかり締め付ける

2

奥壁側

カチッ

シールの貼り付け

シールをはる

大

小

シール

Ⓛ印を下側に向ける

皿ねじ
3×10(1本)

ガタツキがないように
しっかり締め付けること

3

トラス小ねじ
M4×10(4本)

コードはキャビネット
内側に垂らす

洗浄レバーカバー

手締めで

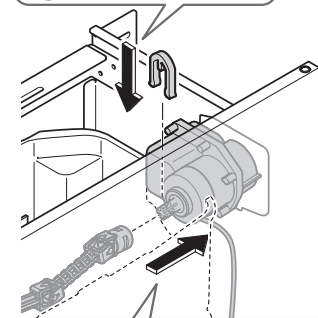
ポイント

【間口が狭い場合】

斜めに
差し込む

4 ジョイントからピンを取り外す

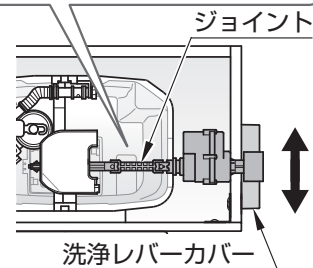
6 ピンを差し込む



5 ジョイントを差し込む

ポイント

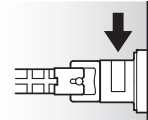
ジョイントが真っすぐになるように、
洗浄レバーカバーを位置調整



ポイント

ジョイントが
抜けないことを確認

ピン固定位置



7 作動確認

- レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- 洗浄後、レバーが正規の位置に戻ることを確認

排水弁

切替弁

8

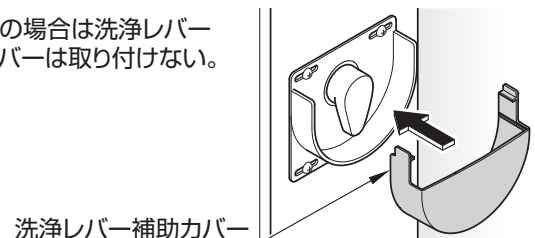
7

小洗浄

大洗浄

9 洗浄レバー補助カバーを取り付ける

※右勝手の場合は洗浄レバー
補助カバーは取り付けない。



7. 後横さん・壁側板

1 後横さんの取り付け

▶ P.34

2 壁側板の取り付け

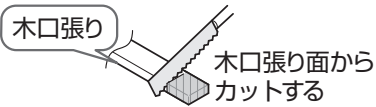
▶ P.35

1 後横さんの取り付け

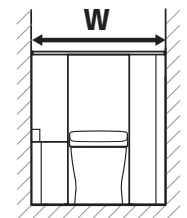
1 後横さんカット・穴あけ

ポイント

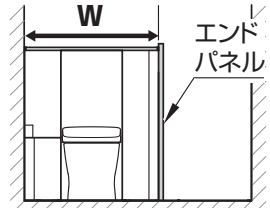
チッピングに注意!



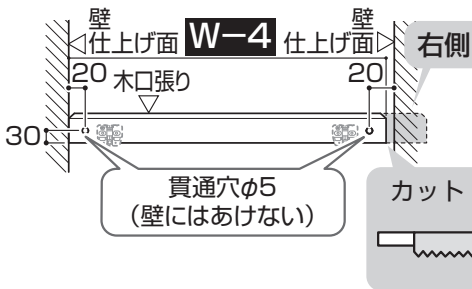
間口寸法Wの測定範囲



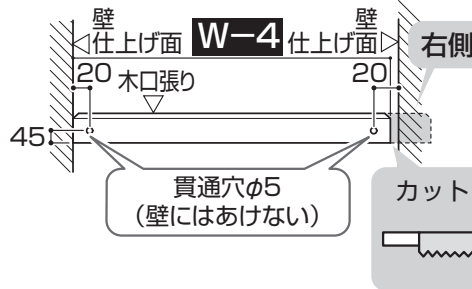
【エンドパネルありの場合】



まるごと収納タイプの場合



収納タイプの場合



まるごと収納タイプの場合

5 スプーンねじ 3.8×50 (1本)

4 水平確認

左に突き当てる

中心※

3

6 けがき → 下穴 φ3

皿タッピンねじ 4×50 (2本)

2 けがき

225

※壁裏補強なしの場合は間柱中心

収納タイプの場合

4 スプーンねじ 3.8×50 (1本)

左に突き当てる

コアキャビネットとのすき間なし

中心※

2

3 水平確認

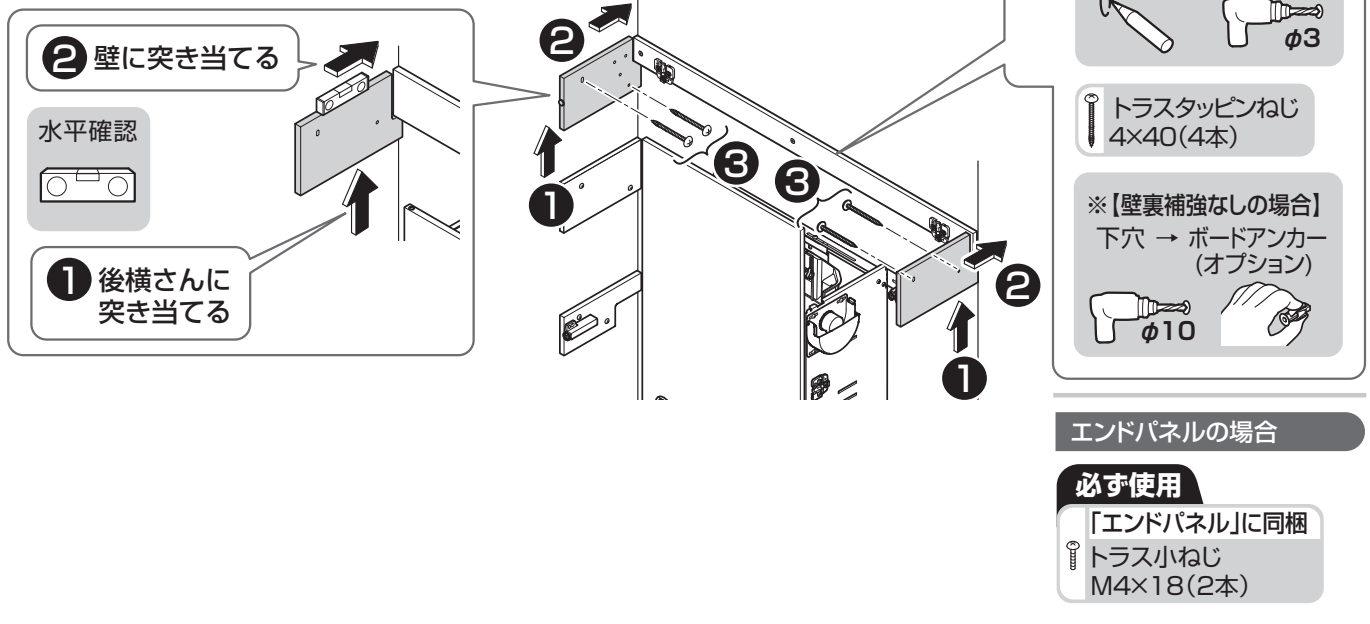
5 けがき → 下穴 φ3

皿タッピンねじ 4×50 (2本)

※壁裏補強なしの場合は間柱中心

7 後横さん・壁側板

2 壁側板の取り付け



8. 大便器

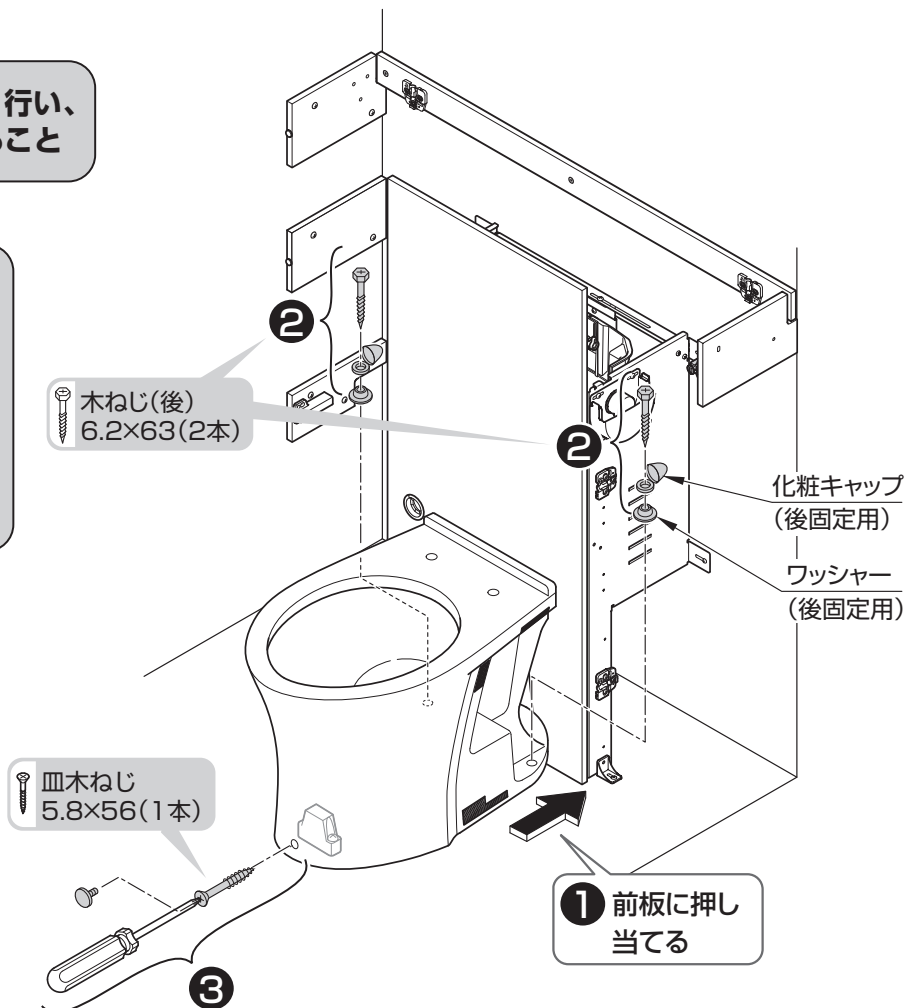
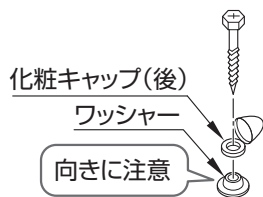
1 大便器の固定

注意

最後の締め増しは、手締めにより行い、大便器を割らないように注意すること

注意

締め過ぎて便器を割らないこと



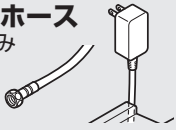
9. ウォシュレット

1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

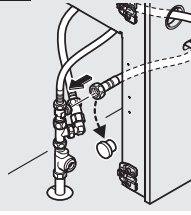
2 プラグ・ホースの差し込み

の差し込み



▶P.36

3 ホースの接続



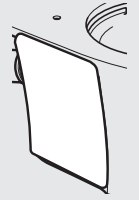
▶P.36

4 リモコンの設定・作動確認



▶P.37

5 サイドカバーの取り付け



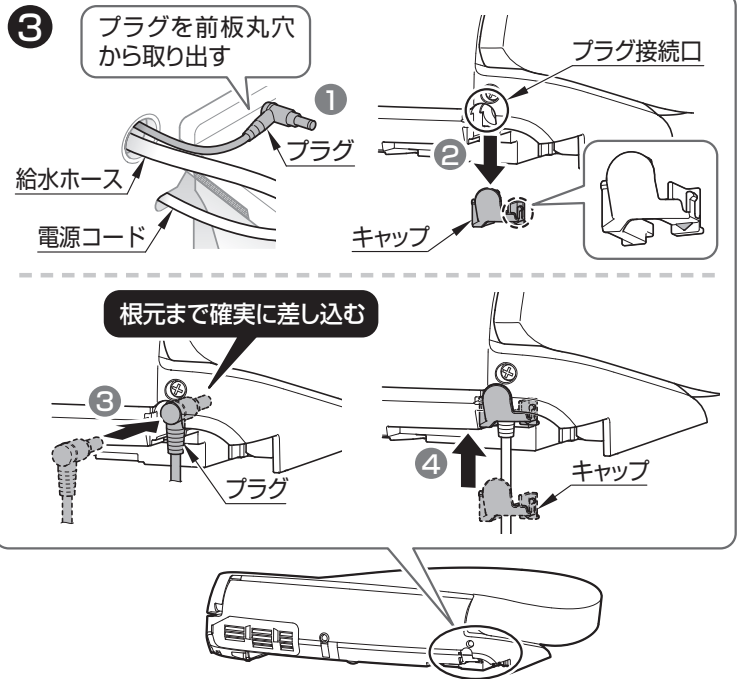
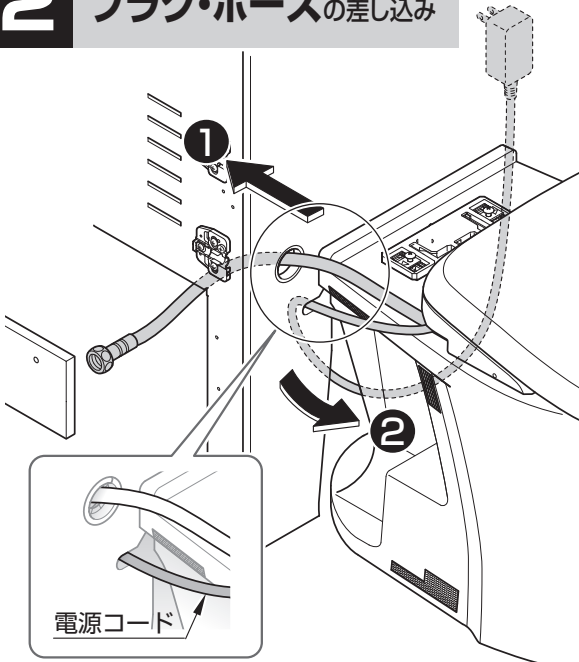
▶P.38

1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出しておく。

2 プラグ・ホースの差し込み

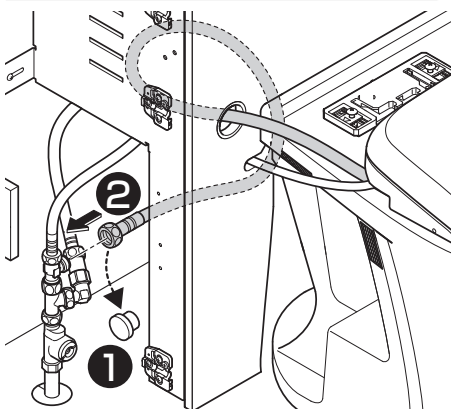


3 ホースの接続

注意

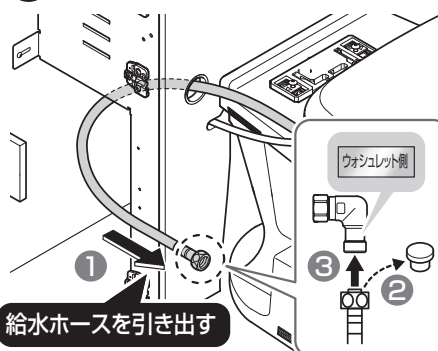
ホースを折り曲げたりつぶしたりしない

床給水、壁給水の場合

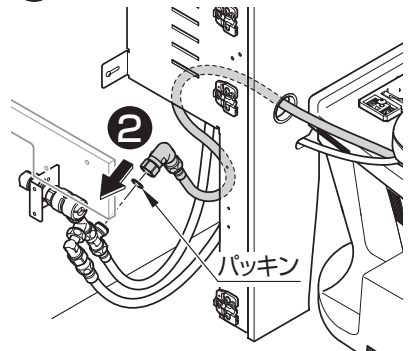


既存給水流用の場合

1 ホースと給水アダプターの接続



2 ホースの接続



4 リモコンの設定・作動確認

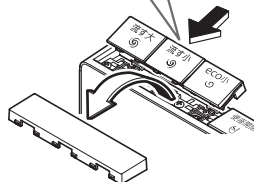
① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

② 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン
(ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱)



注意

リモコンには流すボタンが
取り付けいていません。
必ず取り付けてください。

③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。
※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

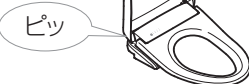
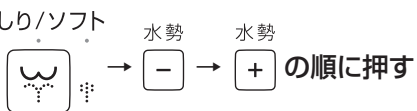
④ ビデ/ワイド と 水勢 - を同時に10秒以上押す



リモコンランプが点灯・点滅します。



⑤ おしり/ソフト 水勢 - 水勢 + の順に押す



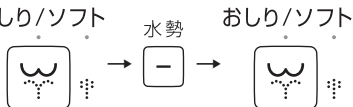
⑥ ビデ/ワイド と 水勢 + を同時に10秒以上押す



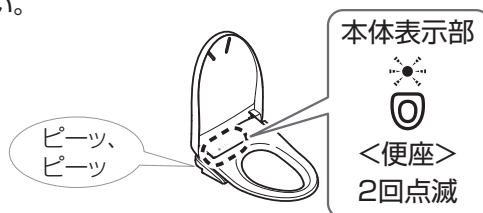
リモコンランプが点灯・点滅します。



⑦ おしり/ソフト 水勢 - おしり/ソフト の順に押す



電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
手順⑤に戻り設定しなおしてください。



⑧ 作動確認

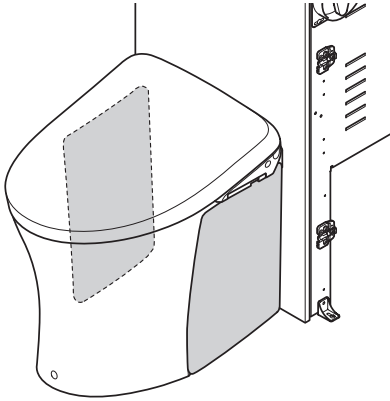
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

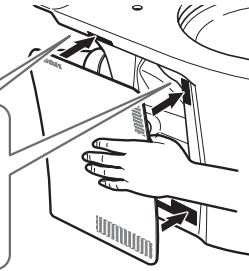
5 サイドカバーの取り付け

【カバーの位置】

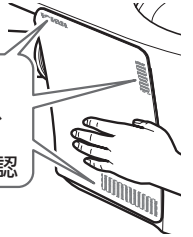


取り付けかた

1 サイドカバーの面ファスナーと便器の面ファスナーの位置をあわせて取り付け



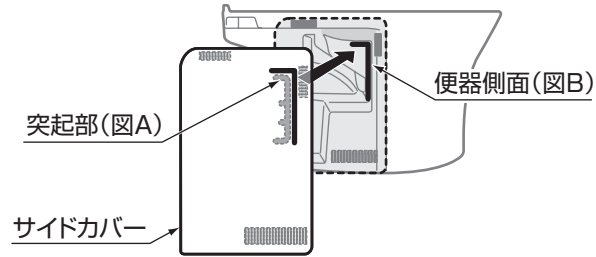
2 しっかり押さえて、外れないことを確認



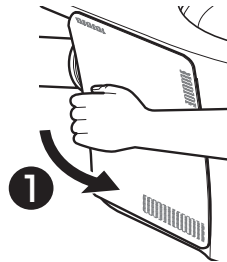
※面ファスナー部(3カ所)をしっかり押さえる。

ポイント

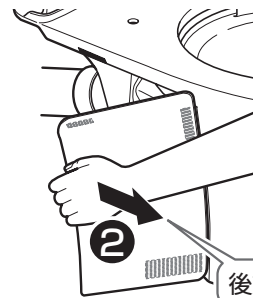
サイドカバーの裏面突起部(図A)と便器側面(図B)の位置をあわせると容易に取り付けることができます。



取り外しかた



※左右2カ所

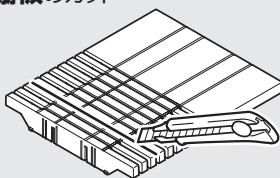


後方を手前方向に

MEMO

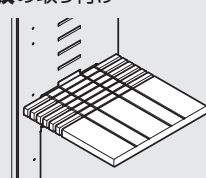
10. 棚板・タンク上収納底板用アンゲル材(まるごと収納タイプ)

1 棚板のカット



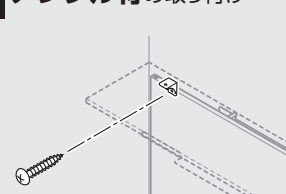
▶P.39

2 棚板の取り付け



▶P.40

3 アンゲル材の取り付け



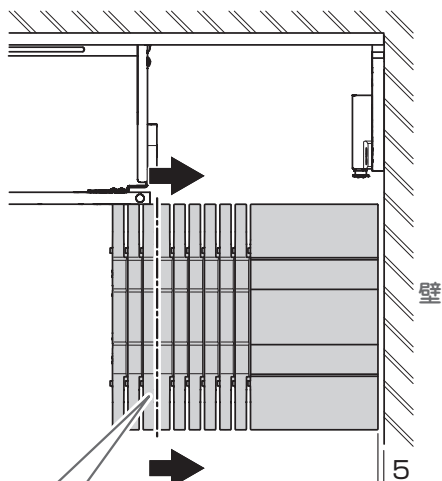
▶P.40

まるごと収納タイプ

1 棚板のカット

① 設置寸法の測定

【上図】

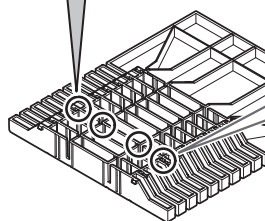


前板の端から壁側寄りにある一番近い溝

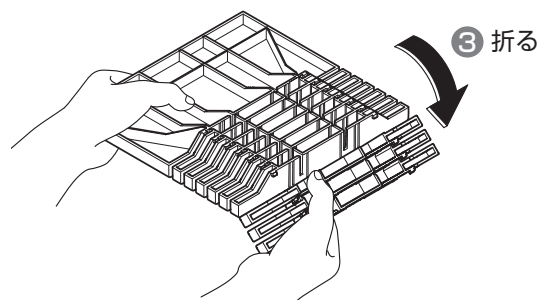
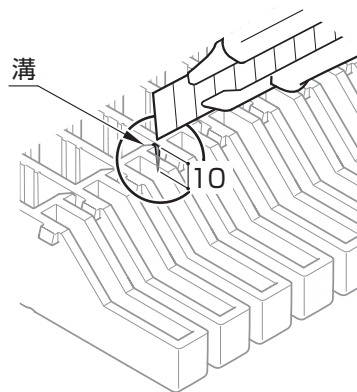
① 5mm程度すき間を空けて、前板に当てる

【裏面】

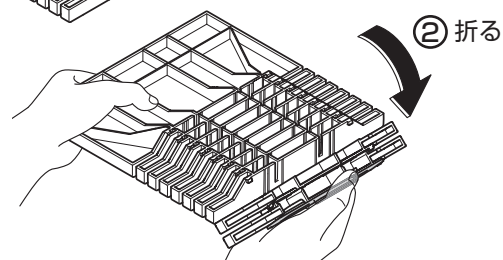
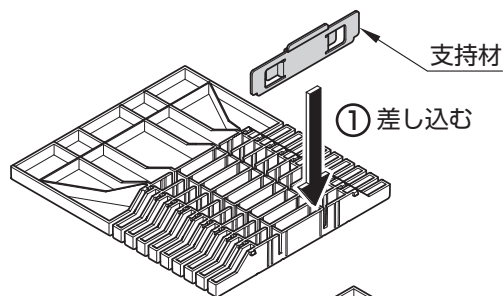
けがいた位置を確認(4カ所)



② リブの溝にあわせて切り込みを入れる(4カ所)

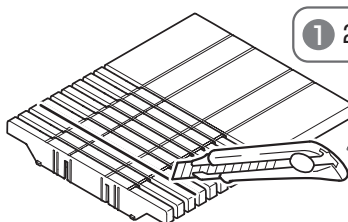


棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合



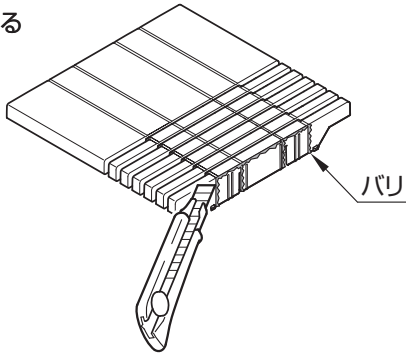
② 棚板のカット

【上面】



① 2回程度なぞる

④ バリを取る



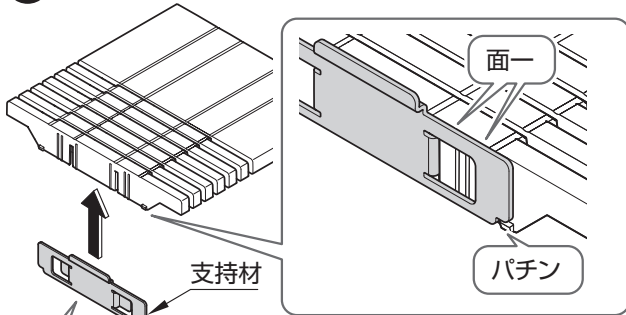
注意

棚板を切断したあとは必ずバリを取る

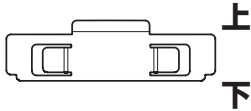
バリ取りが不十分な場合は、切断面でけがをするおそれがあります。

2 棚板の取り付け

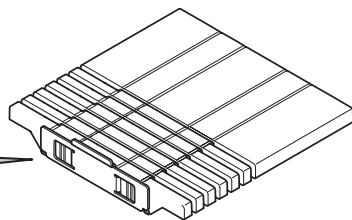
① 支持材の取り付け



支持材の上下に気を付ける

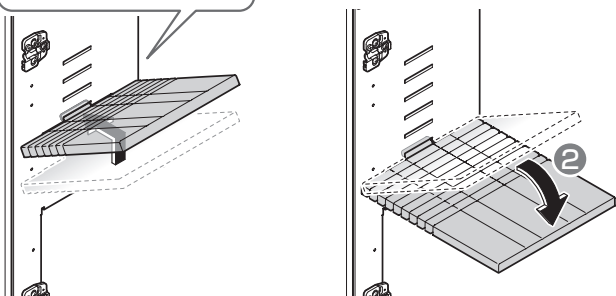


完成図



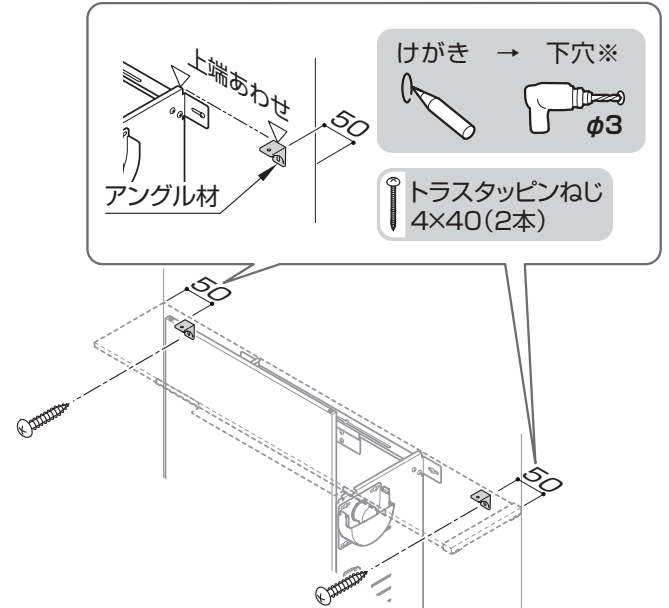
② 棚板の取り付け

① 溝に棚板の支持材を差し込む



まるごと収納タイプ

3 アングル材の取り付け



※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー (オプション)



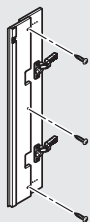
MEMO

11.扉

2 扉の取り付け 調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。
[URL] https://jp.toto.com/support/repair/solution_t/08_02.htm

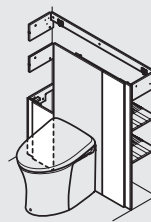


1 扉の組み立て



▶P.41

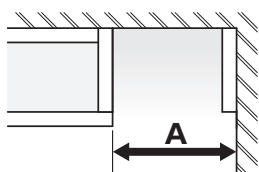
2 扉の取り付け



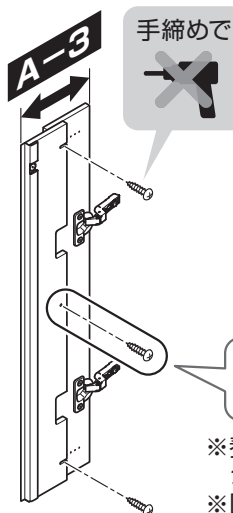
▶P.41

1 扉の組み立て

① 設置寸法の測定



② 扉の組み立て

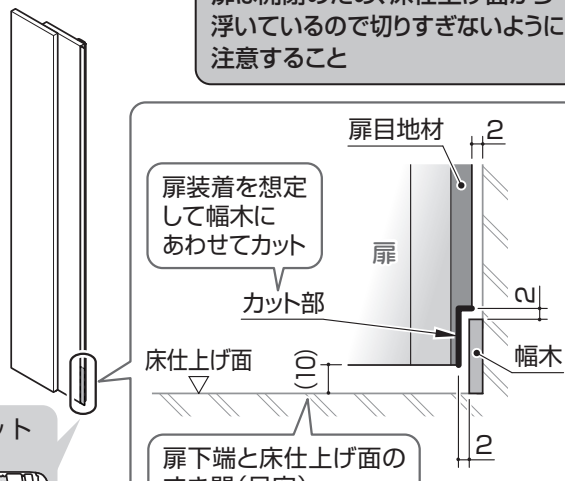


手締めで

トラスタッピンねじ
4×20 (2本)本固定用(ここでは使用しない)
▶「19.仕上げ」※養生シートがある場合は取付前に
シートをはがす
※図は右扉セットの場合

幅木がある場合

③ 扉目地材のカット

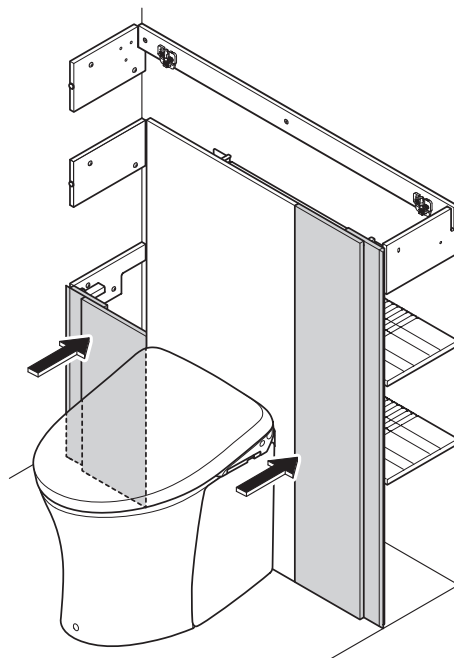
扉は開閉のため、床仕上げ面から
浮いているので切りすぎないように
注意すること

カット

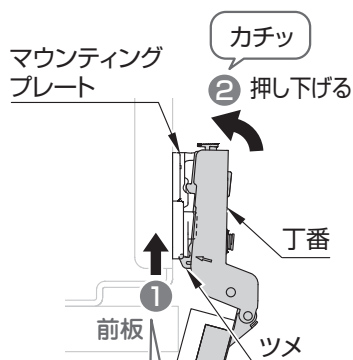


2 扉の取り付け

① 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け



取り付けかた

マウンティング
プレート

カチッ

② 押し下げる

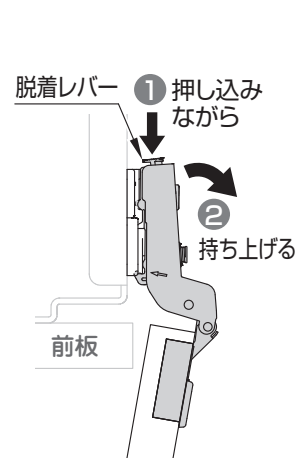
丁番

前板

ツメ

マウンティングプレート
先端にツメを引っ掛ける丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する

取り外しかた

脱着レバー ① 押し込み
ながら

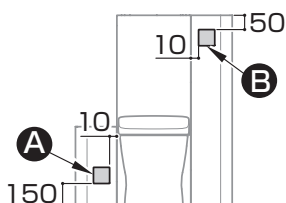
② 持ち上げる

前板

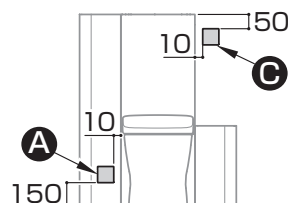
② ラベルの貼り付け

- A** 止水栓ラベル **B** 便器洗浄ラベル (GH04247) **C** 便器洗浄ラベル (GH04248)

〈左勝手の場合〉



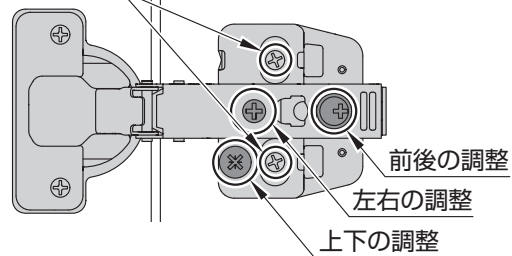
〈右勝手の場合〉



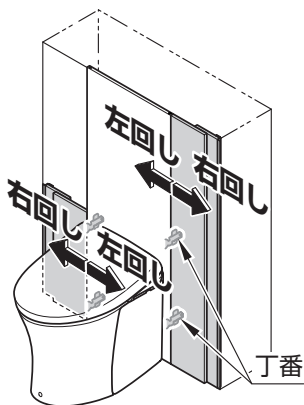
はり付け位置(参考)

扉の調整

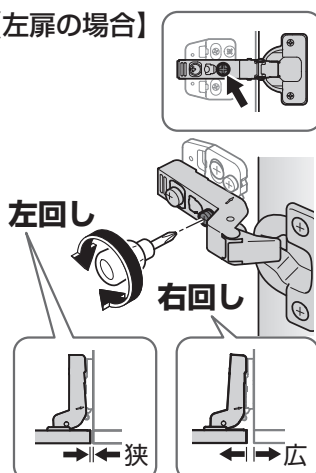
このねじは使わない



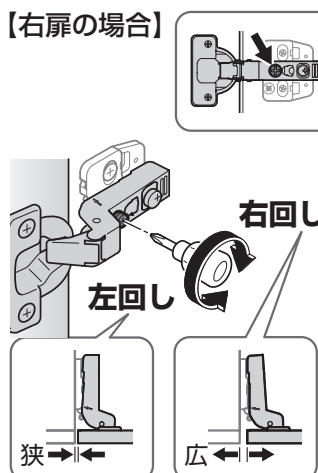
【左右】



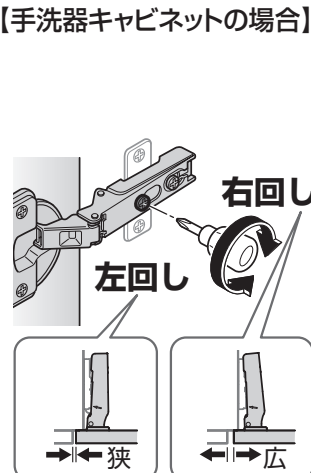
【左扉の場合】



【右扉の場合】

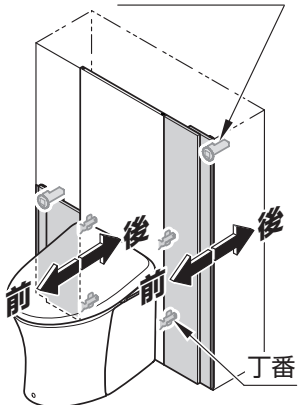


【手洗器キャビネットの場合】

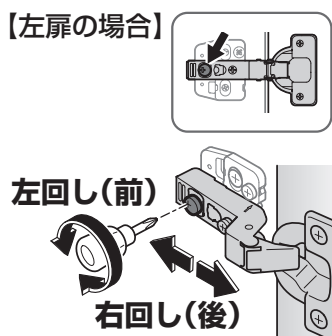


【前後】

プッシュラッチ部※

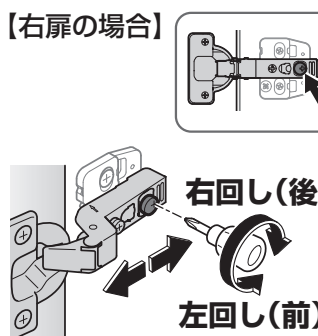


【左扉の場合】



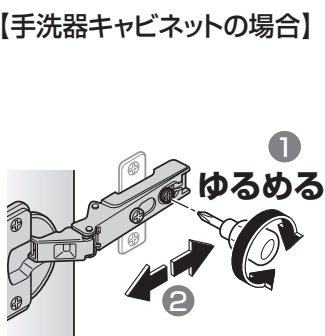
※プッシュラッチ部も前後調整できます。

【右扉の場合】



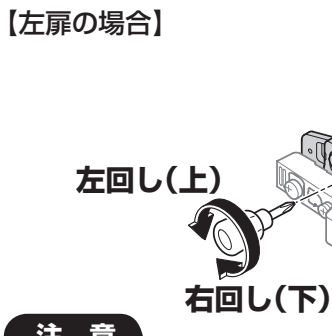
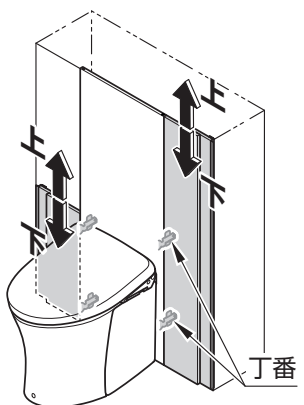
前が出る 後ろに下がる

【手洗器キャビネットの場合】

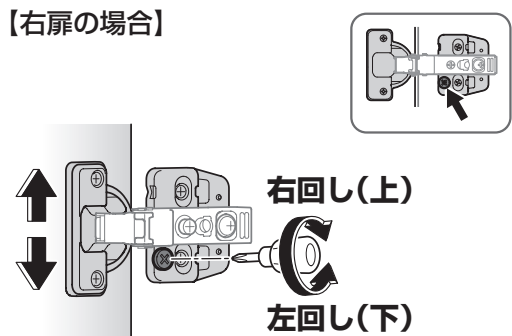


【上下】

【左扉の場合】



【右扉の場合】



注意

扉の上下調整は2つの丁番の移動方向をあわせる
逆方向に移動すると扉の動きがかたくなる、また扉が反ることがあります。

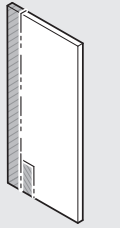
※扉の向きによって調整ねじ位置が変わります。

【お引渡し前に】

扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶ P.80

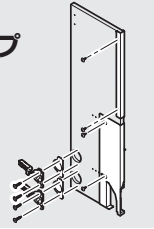
12. 固定扉

1 固定扉のカット



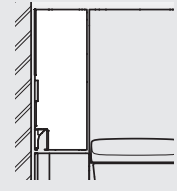
▶ P.43

2 丁番・固定扉キャップの取り付け



▶ P.43

3 固定扉の取り付け



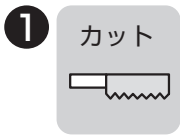
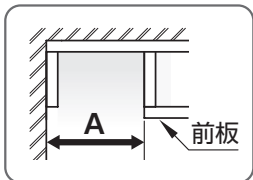
▶ P.43

1 固定扉のカット

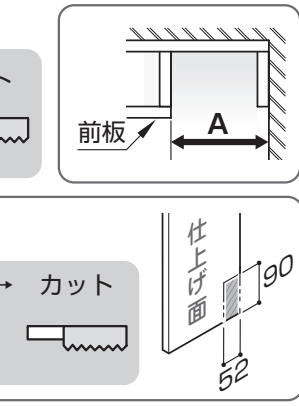
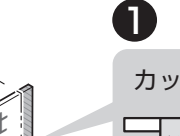
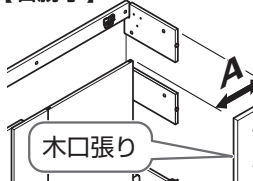
注意

仕上げ面を上にしてカットすること

【左勝手】



【右勝手】



2 丁番・固定扉キャップの取り付け

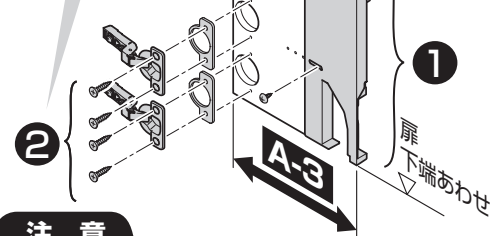
手締めで



トラスタッピンねじ 4×10(4本)

※部材に養生シートがある場合ははがす

皿タッピンねじ 3.5×14(4本)

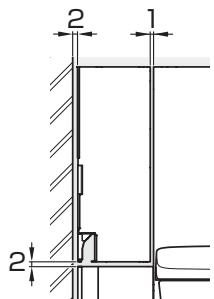


注意

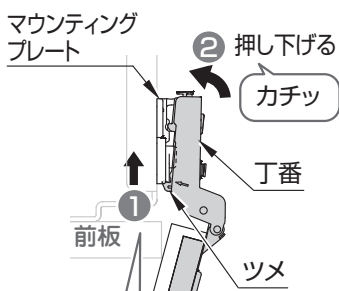
天板開閉部材セットに同梱されているスライド丁番を使用しないこと
形は同じでも開き角度が違います。

3 固定扉の取り付け

仕上げ状態(目安)

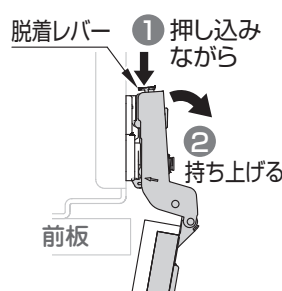


取り付けかた



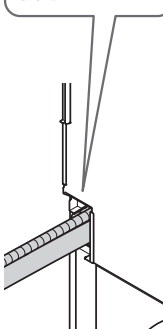
マウンティングプレート先端にツメを引っ掛ける

取り外しかた



丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着されているか確認する

フレキホース (手洗器用)、排水管を通す



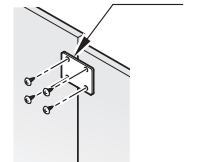
まるごと収納タイプ

トラスタッピンねじ 4×10(4本)

手締めで



平板金



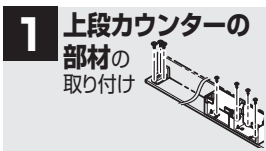
手洗器 M サイズ

13-M.手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合 P.56を参照してください。

カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど(現場手配)で必ず調整してください。壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見ばえに影響が出ることがあります。



▶P.44

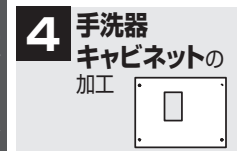


▶P.46



▶P.47

電気温水器付
自動水栓の場合



▶P.47



▶P.47



▶P.48



▶P.48



▶P.49



▶P.50

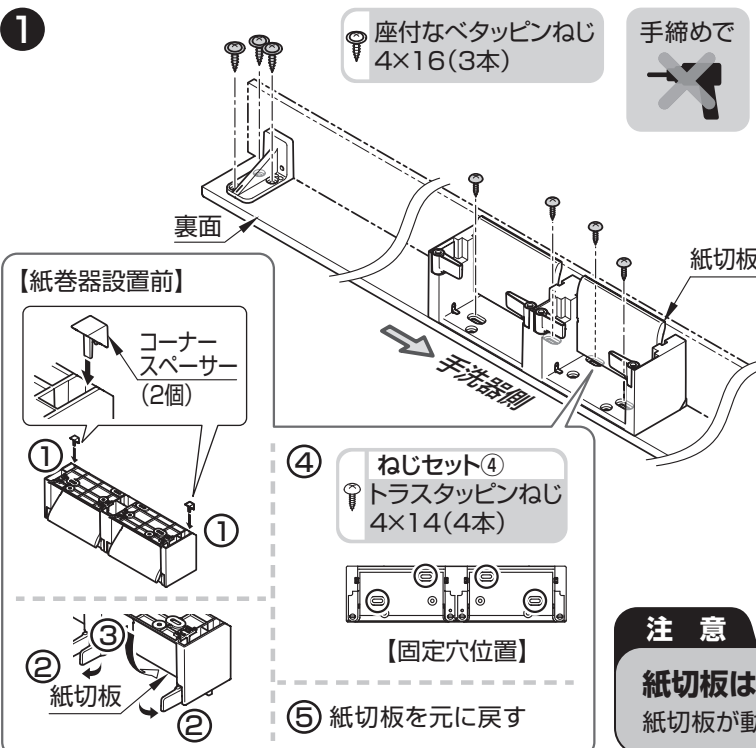
1 上段カウンターの部材の取り付け

ポイント

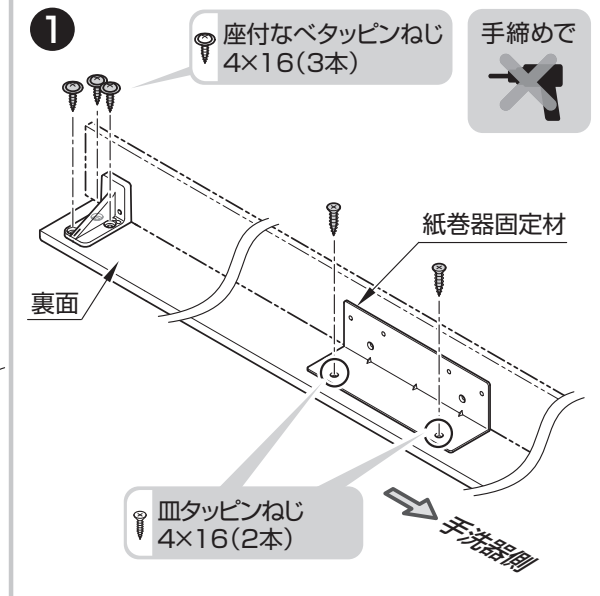
ブラケット類の裏面に
上段補強さんをあてがい、
固定する



樹脂製紙巻器の場合 (紙巻器固定材はありません)

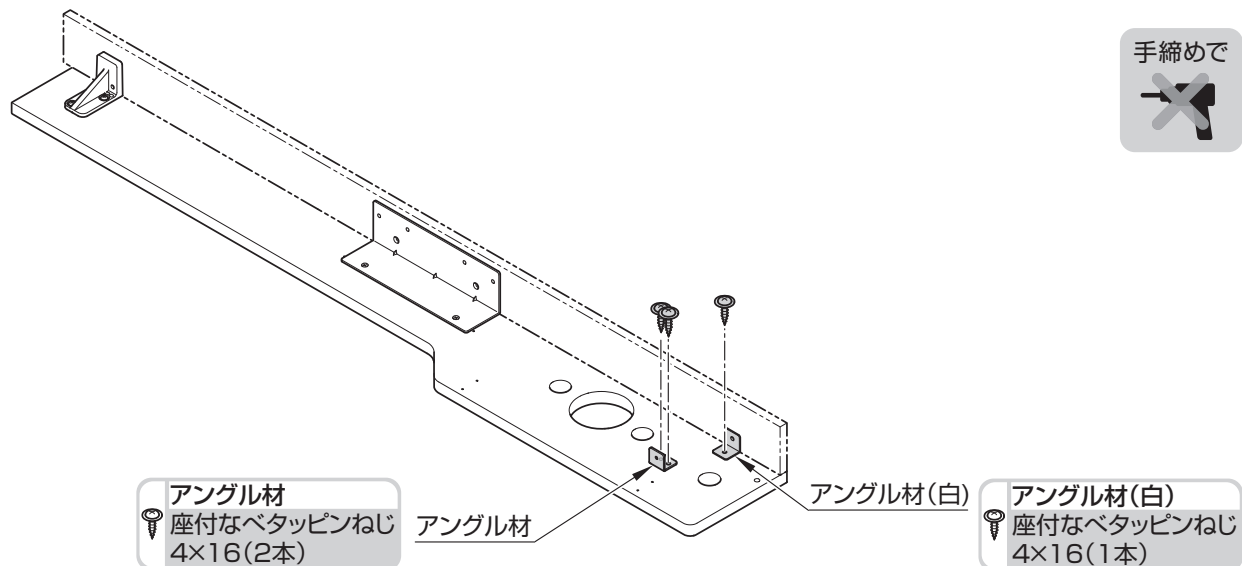


メタル製紙巻器の場合



注意

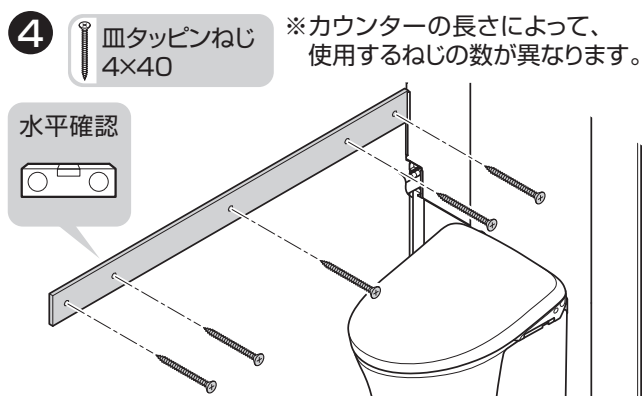
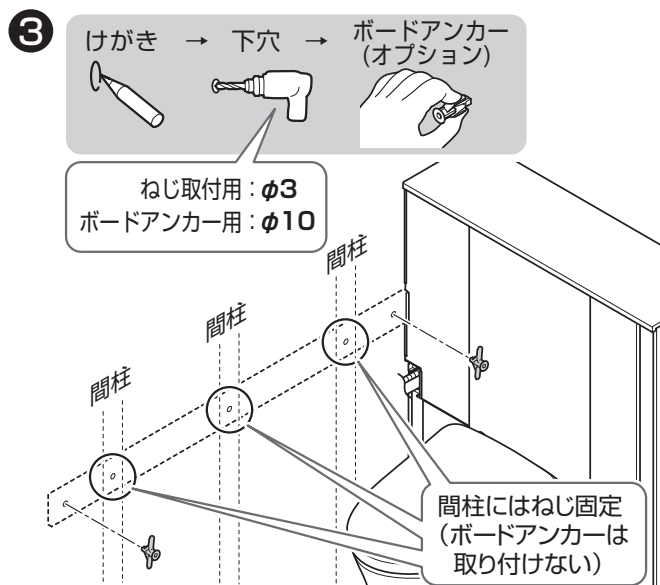
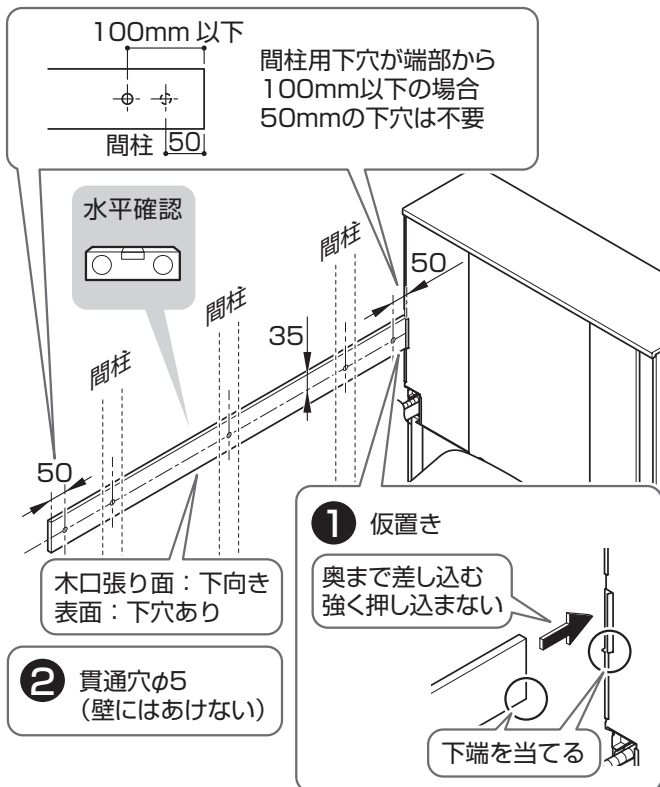
紙切板は外さない
紙切板が動作不良を起こすことがあります。



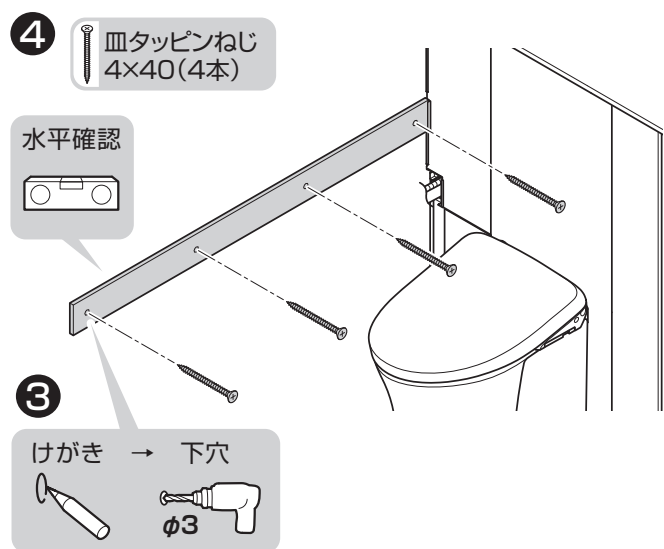
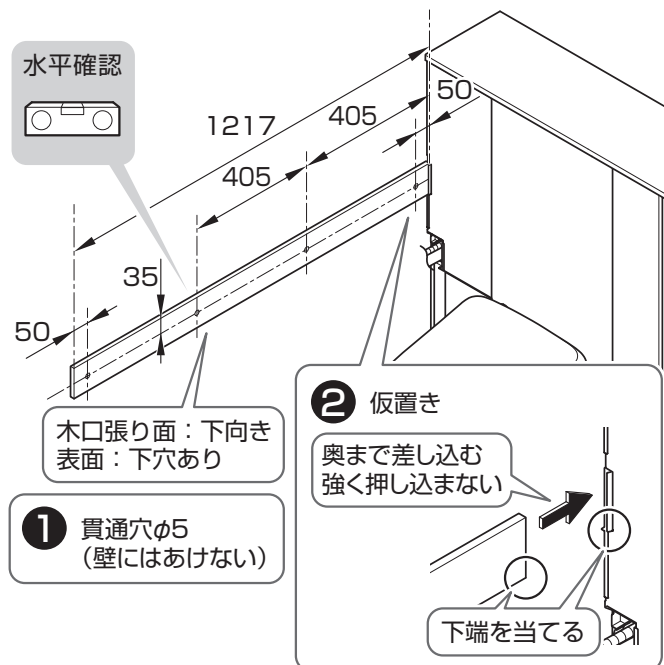
MEMO

2 上段補強さんの取り付け

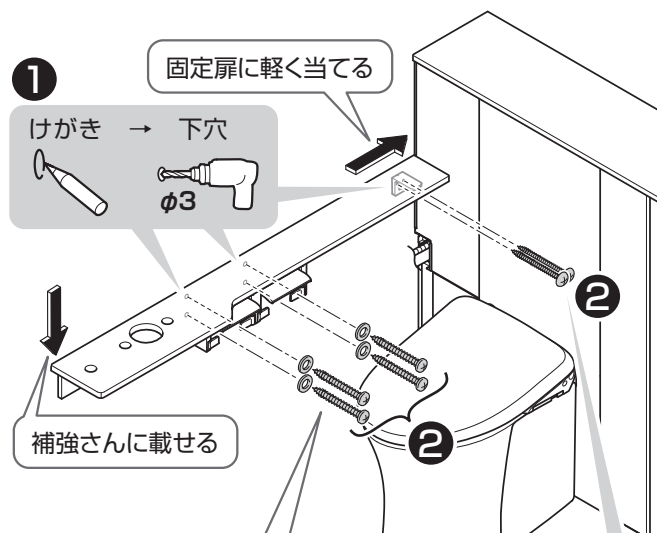
壁裏補強なしの場合



壁裏補強ありの場合



3 上段カウンター^①の取り付け



【樹脂紙巻器の場合】

ねじセット①

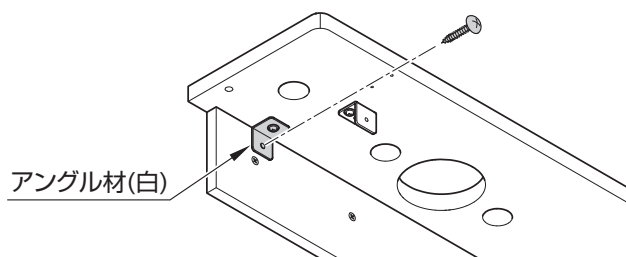
なべタッピンねじ 4.5×40 (4本) 平座金 (4個)

【メタル紙巻器の場合】

皿タッピンねじ 4×40 (2本)

トラスタッピンねじ 4×30 (2本)

③ トラスタッピンねじ 4×20 (1本)



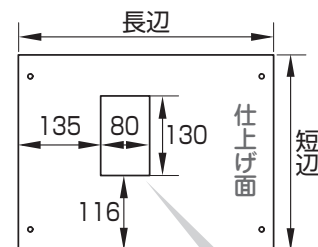
MEMO

電気温水器付自動水栓の場合

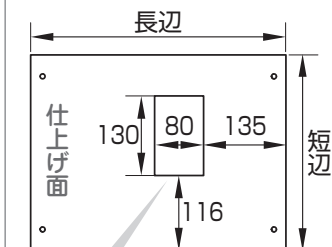
4 手洗器キャビネット^①の加工

背板にコンセント用の穴を加工

【左勝手】



【右勝手】

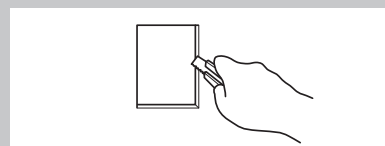


カット

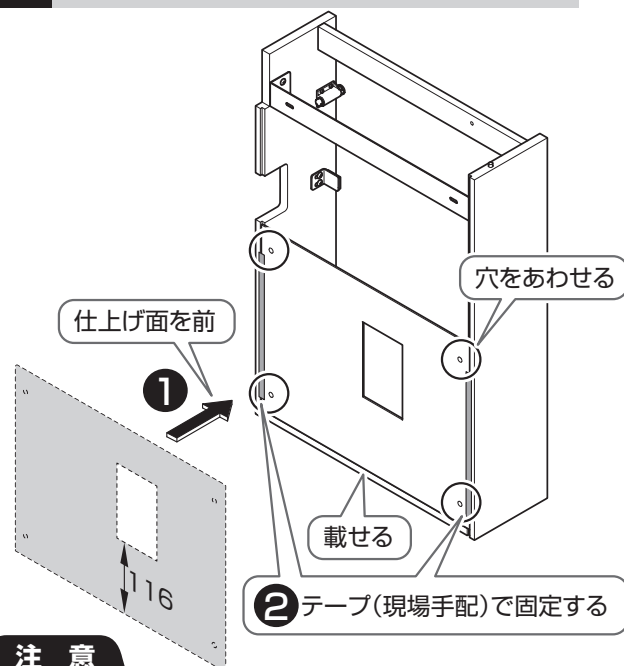


ポイント

小型のノコギリを使用すると簡単にあけられます。

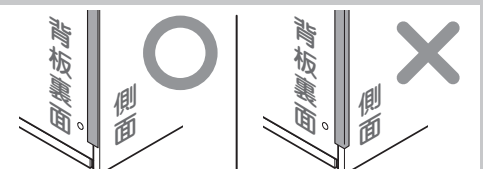


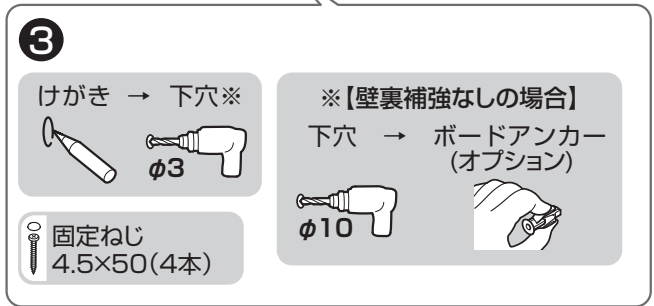
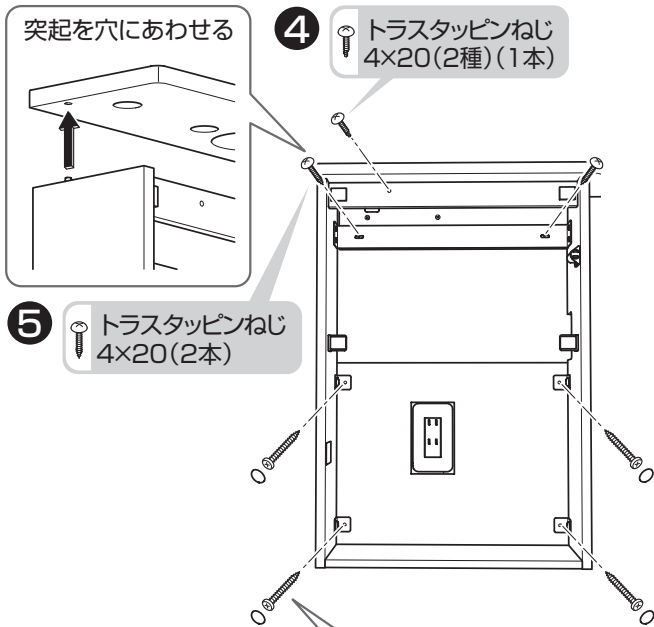
5 手洗器キャビネット^①の取り付け



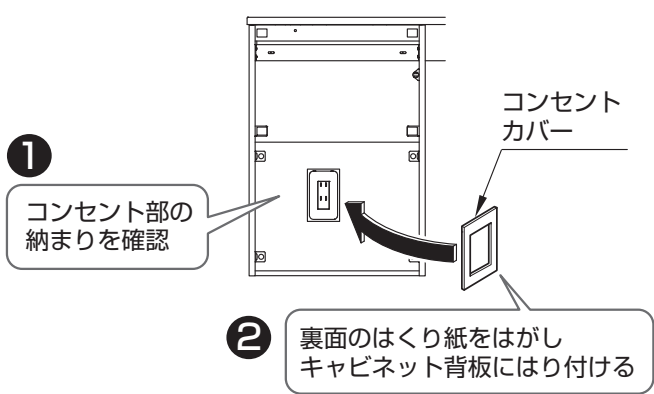
注意

側面にテープがかからないようにする

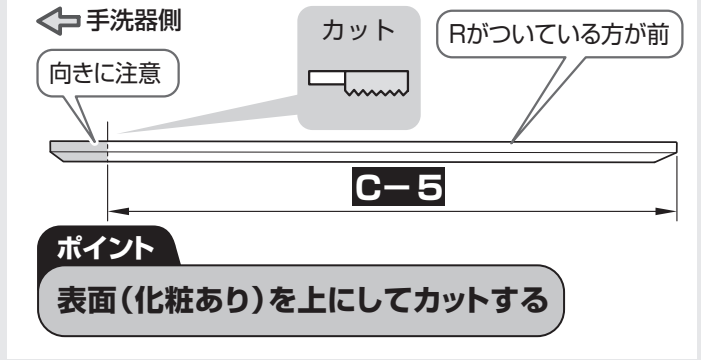
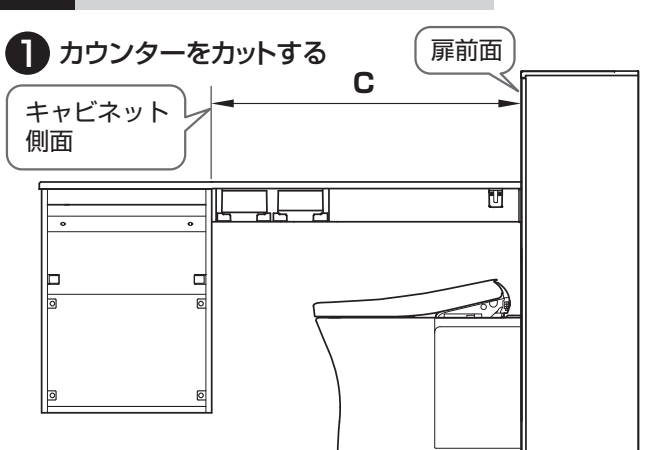




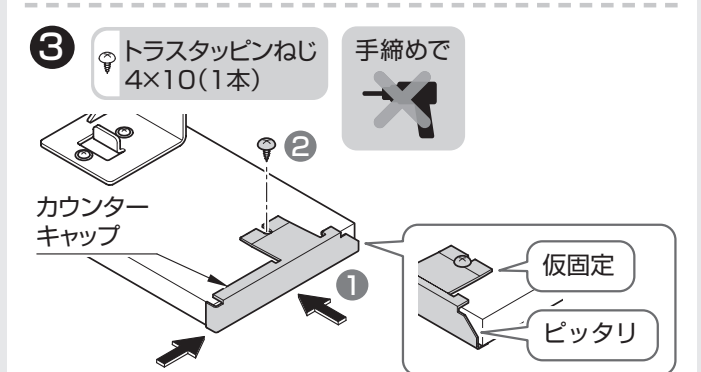
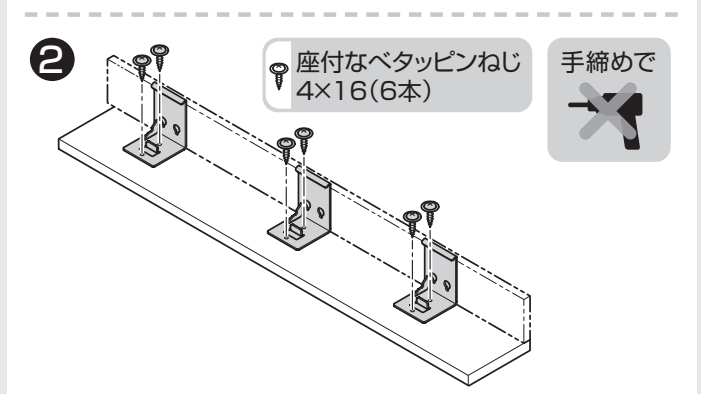
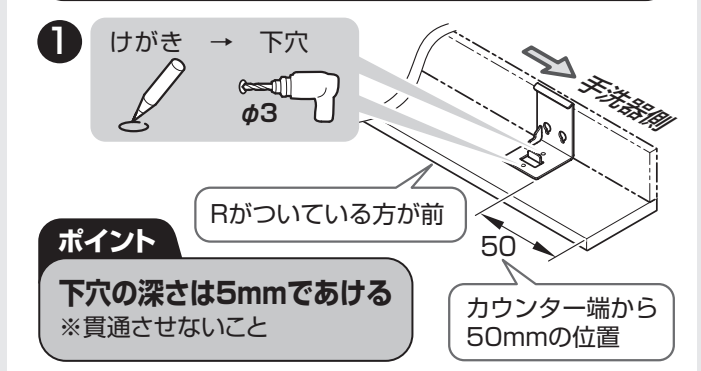
コンセントがある場合



6 下段カウンターのカット



7 下段カウンターの部材の取り付け



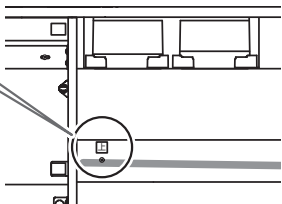
8 下段補強さんの取り付け

壁裏補強なしの場合

注意

向きに注意!

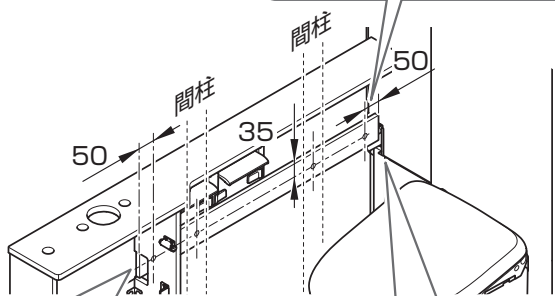
凹マークを手洗器側に



② 貫通穴φ5
(壁にはあけない)

100mm 以下
間柱用下穴が
端部から100mm
以下の場合50mm
の下穴は不要

間柱

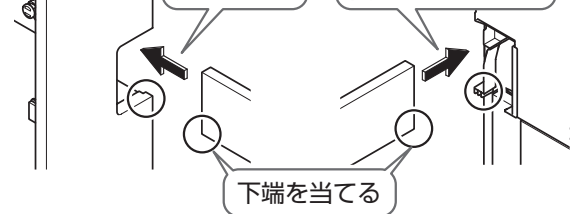


① 仮置き

切欠き部に
差し込む

奥まで差し込む
強く押し込まない

下端を当てる

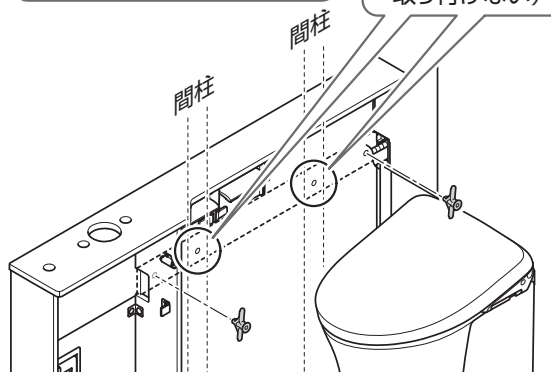


③ けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)



ねじ取付用: φ3
両端ボードアンカー用: φ10

間柱にはねじ固定
(ボードアンカーは
取り付けない)

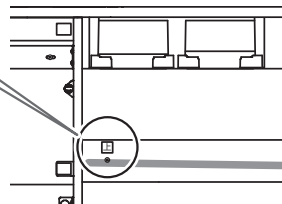


壁裏補強ありの場合

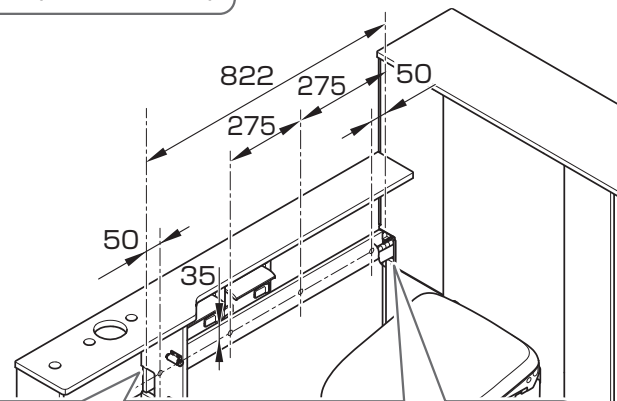
注意

向きに注意!

凹マークを手洗器側に



① 貫通穴φ5
(壁にはあけない)

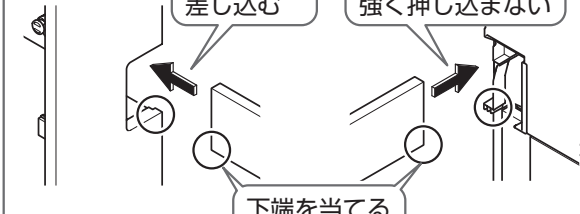


② 仮置き

切欠き部に
差し込む

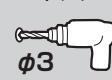
奥まで差し込む
強く押し込まない

下端を当てる

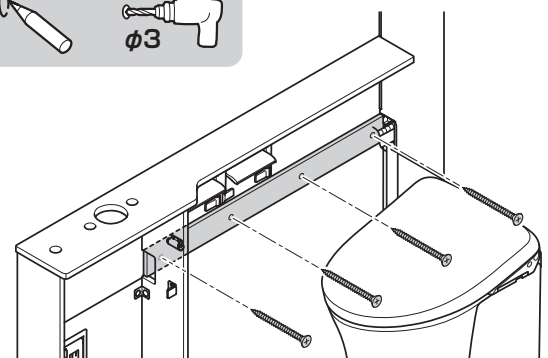


③ 皿タッピンねじ
4×40(4本)

けがき → 下穴

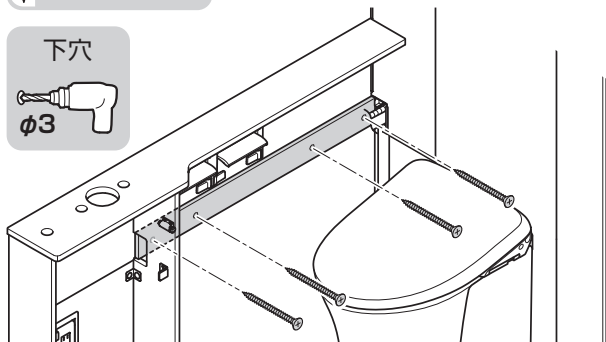


φ3



壁裏補強なしの場合

- 4** 皿タッピンねじ 4×40 ※カウンターの長さによって、使用するねじの数が異なります。

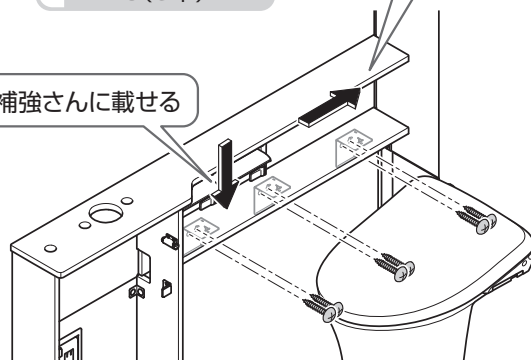


MEMO

9 下段カウンターの取り付け

- 1** トラストタッピンねじ 4×20(6本) 固定扉に軽く当てる

補強さんに載せる

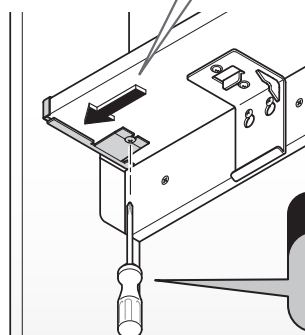


けがき → 下穴



2

キャップを手洗器
キャビネットに当てる



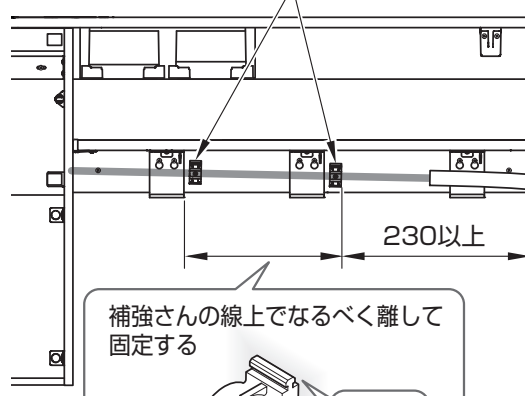
ポイント

ドライバーにて
手締めする

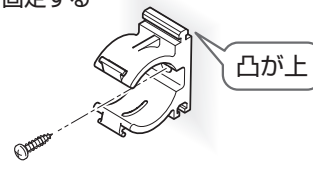
3

- なべタッピンねじ 4×16(2本)

配管支持材



補強さんの線上でなるべく離して
固定する



凸が上

手洗器 M サイズ

14-M. 手洗器

**1 排水金具・手洗器
固定金具の
取り付け**

▶ P.51

2 手洗器の取り付け

▶ P.51

3 水栓金具の取り付け

▶ P.52

4 取付穴の下穴あけ

▶ P.52

5 配管固定材の固定

▶ P.52

**6 フレキホース(手洗器用)
の接続**

▶ P.52

**7 手洗器排水ホースの
カット**

▶ P.54

**8 排水トラップの
取り付け**

▶ P.55

1 排水金具・手洗器固定金具の 取り付け

スリップ
ワッシャー

向きに
注意

三角パッキン

①

②

③

シリコン系シール剤

ねじ部が見えなくなるまで
締め付ける

手締めで

ポイント

陶器とのすき間がなくなる
まで、しっかり押し込む

取付ボルトが途中までしか入ら
ず、手洗器が固定できません。

注意

接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。
(接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具に
て半回転締め付けるくらいが適切です。)

禁止

排水金具に工具などを差し込んで
(固定し)、締め付けない

排水金具内の十字部の
破損の原因となります。

排水金具ねじ部には、必ずシリコン系
シール剤を塗布する

必ず守る

水漏れして家財などをめらす財産損害発生の
原因となります。

2 手洗器の 取り付け

1 クッション材の 取り付け

はみ出さぬよう
端から少し
内側にはる

警告

クッション材のはり
付けは確実に
水などがキャビネット
内に浸入してコンセ
ントにかかり、火災や感
電の原因となります。

必ず守る

継ぎ目

ポイント

向きに注意

しっかり
はめ込む

③

ポイント

手洗器を壁に
押し当てる

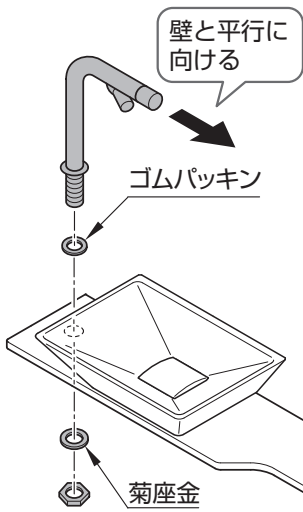
左右の位置
を調整

手締めで

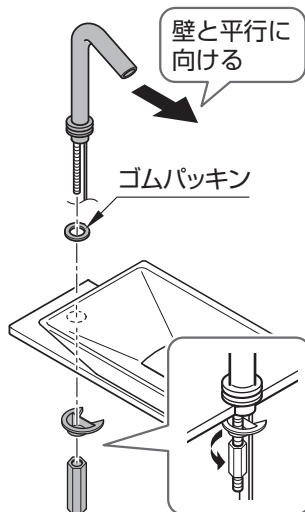
②

3 水栓金具の取り付け

ハンドル式水栓



自動水栓



4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※

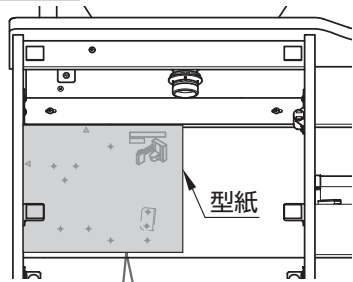


※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー (オプション)



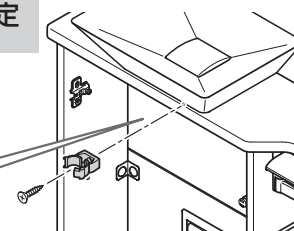
【けがき位置】
 ハンドル式水栓: 1カ所
 自動水栓: 6カ所
 電気温水器付自動水栓:
 10カ所



5 配管固定材の固定

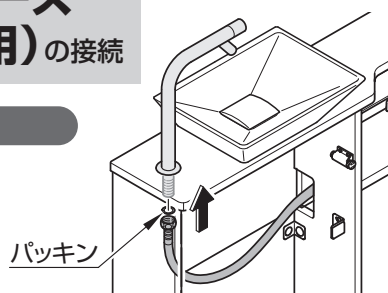
皿タッピンねじ
4×40 (1本)

配管固定材を固定する



6 フレキホース (手洗器用) の接続

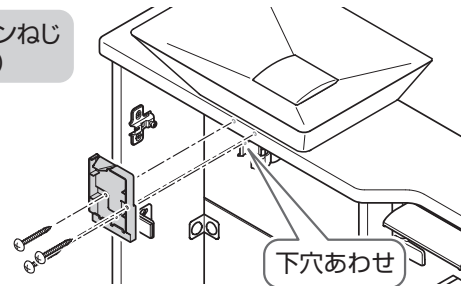
ハンドル式水栓



自動水栓・電気温水器付自動水栓

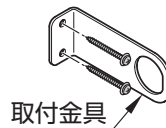
1 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ
4×30 (3本)



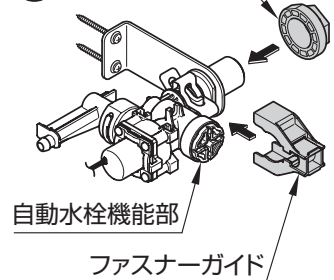
2

座付タッピンねじ
4.5×38 (2本)

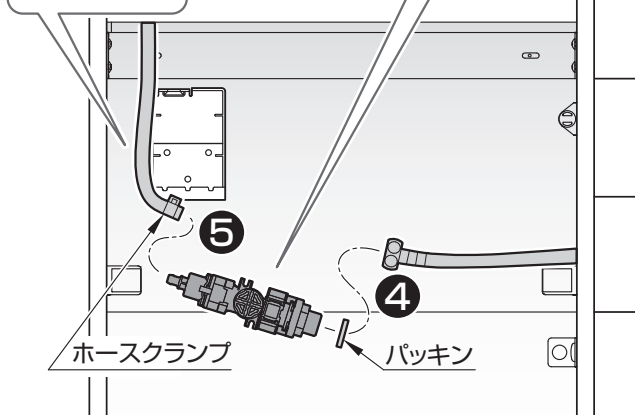


取付金具

3 つば付きナット



適切な長さに
ホースをカット



5 スパウト連結ホースの接続

※電気温水器を設置する場合▶次ページ参照

注意

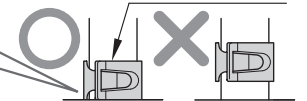
- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
- ・水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

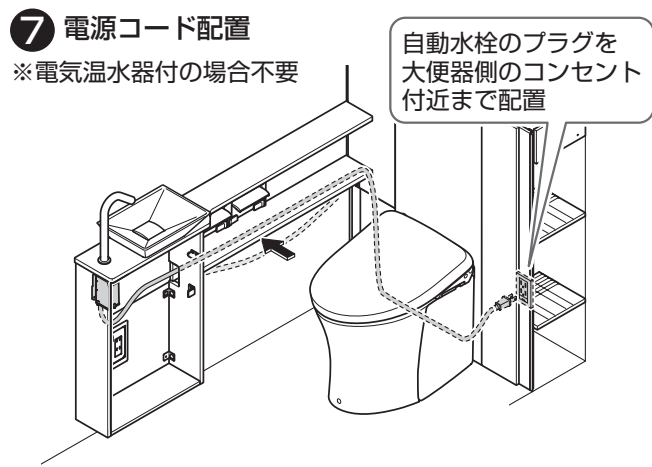
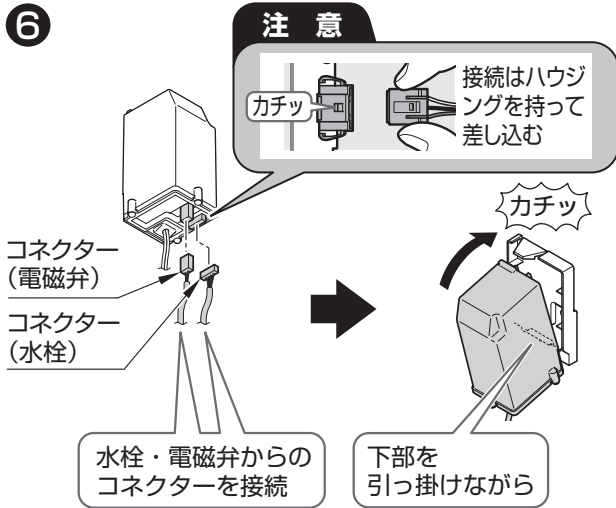


必ず守る

- ・ホースクランプは所定の位置にくるようにする
- ・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、排水ホースを固定する

ホースクランプがホース継手の上面に付くこと





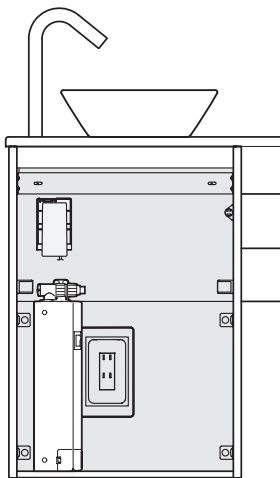
電気温水器付自動水栓

▶電気温水器施工説明書

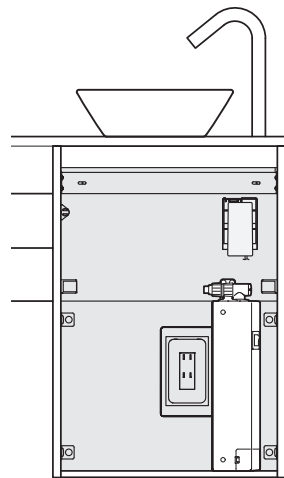
電気温水器取付位置

【左勝手】

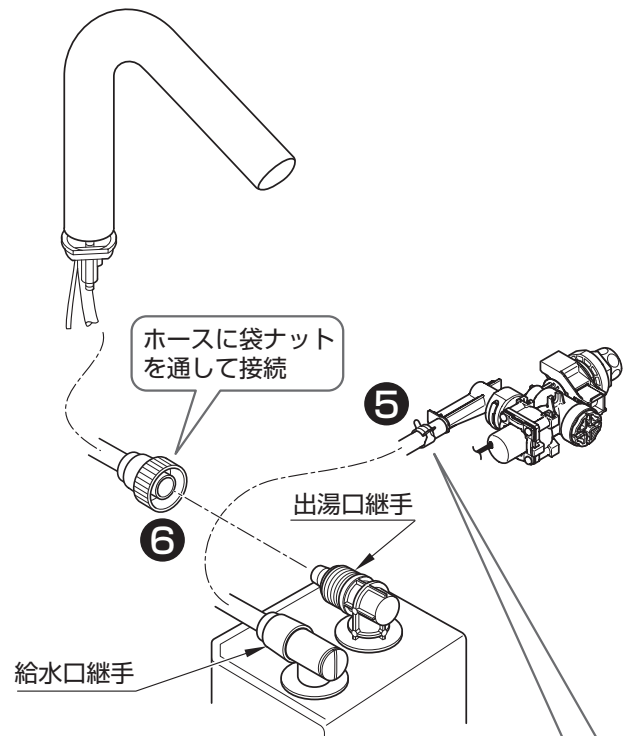
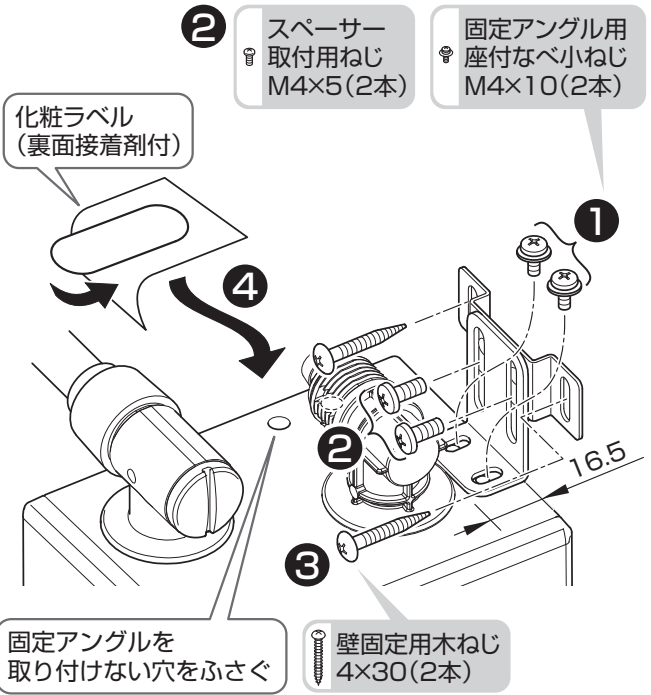
【右勝手】



▽床仕上げ面



▽床仕上げ面

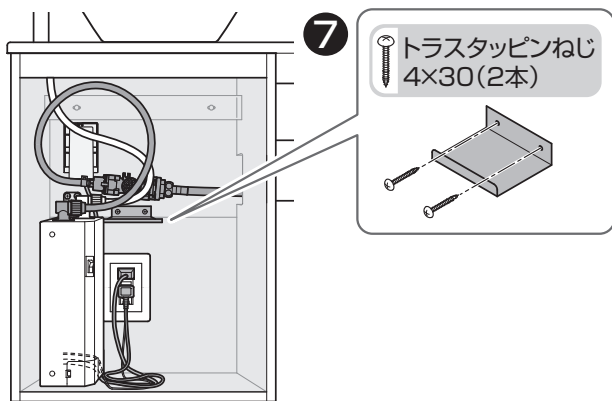


! 注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
 - ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



▽床仕上げ面

警告

電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

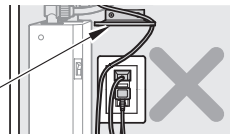


禁止

電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない

結露水がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。

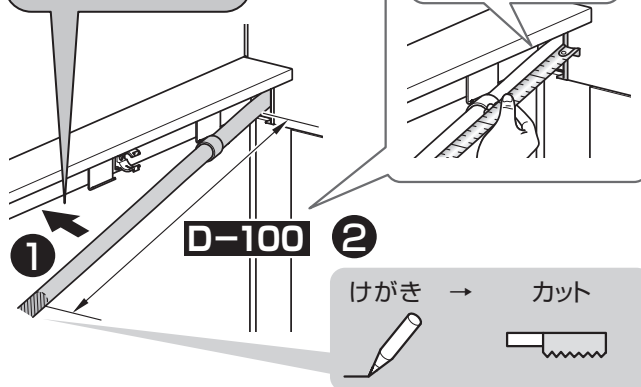
コンセント
プレートカバー



ポイント

排水管を壁側に寄せてけがく

固定扉キャップに当てて測る

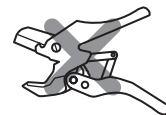


注意



必ず守る

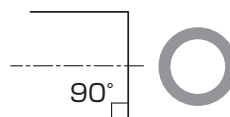
ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



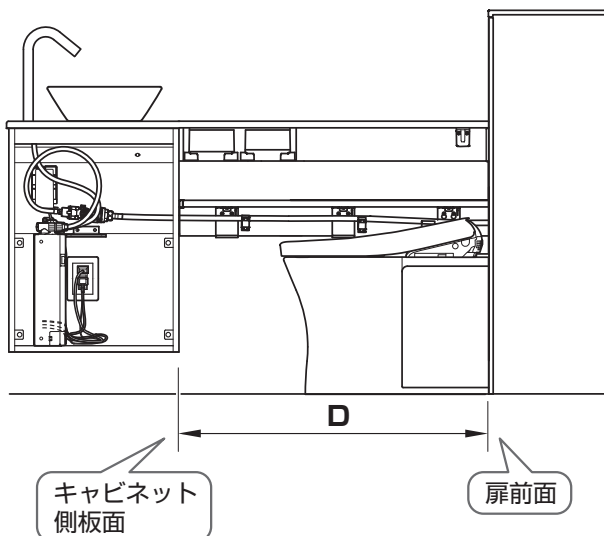
カット面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

ポイント

手洗器排水ホースは垂直にカットする



7 手洗器排水ホースのカット

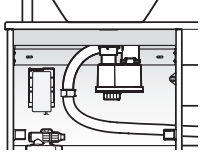


MEMO

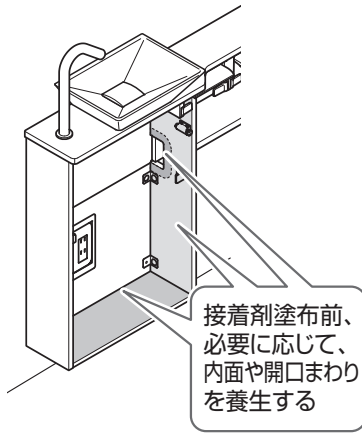
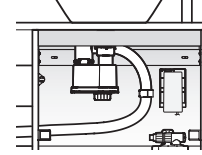
8 排水トラップの取り付け

取付状態

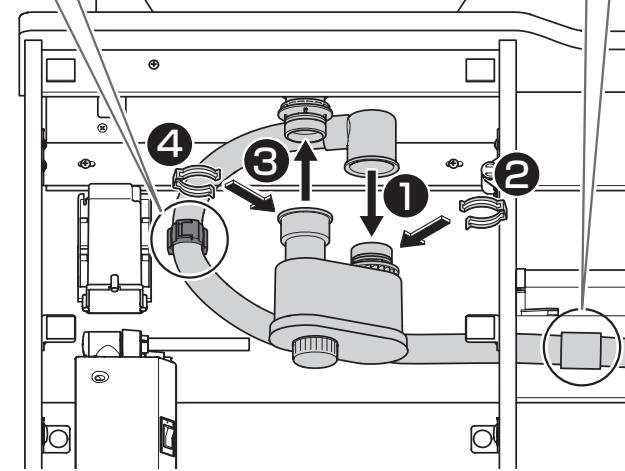
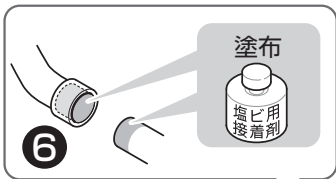
【左勝手】



【右勝手】



5 配管固定材に
トラップ排水管を通す
※固定はしない



1 3

注意



斜めに差し込まない
水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生の
原因となります。

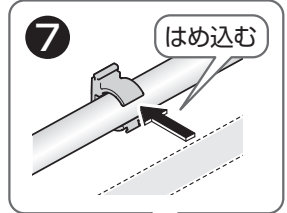
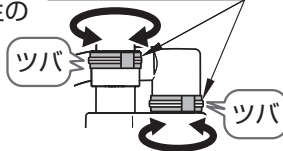


注意



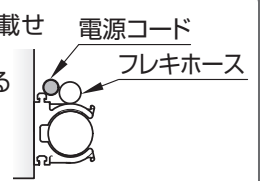
必ず守る

クイックファスナーが正しく固定されて
いることを確認する
全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などを クイックファスナー
ぬらす財産損害発生の
原因となります。



8 トラップ排水管を
配管固定材に固定

9 フレキホースを排水管の上に載せ
インシュロックで固定する
※自動水栓の電源コードがある
場合は排水管の上に載せる

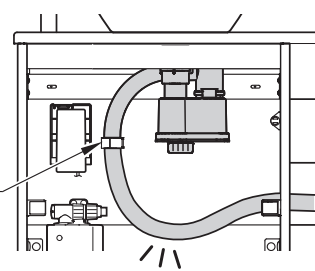


逆勾配注意

トラップ排水管がたるまないように固定する
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



MEMO